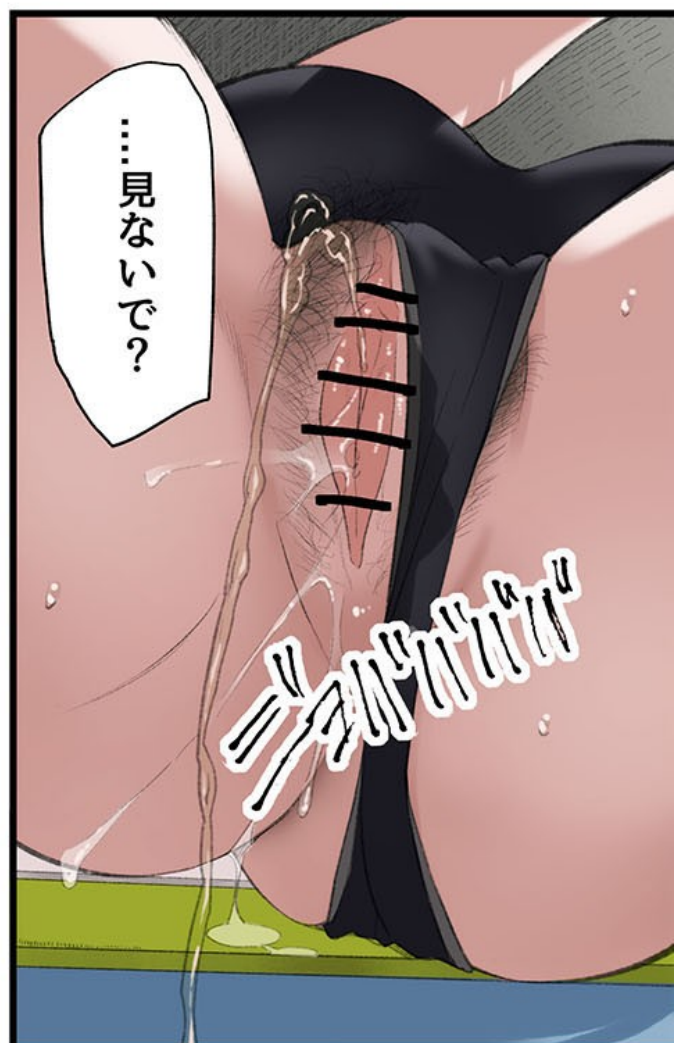
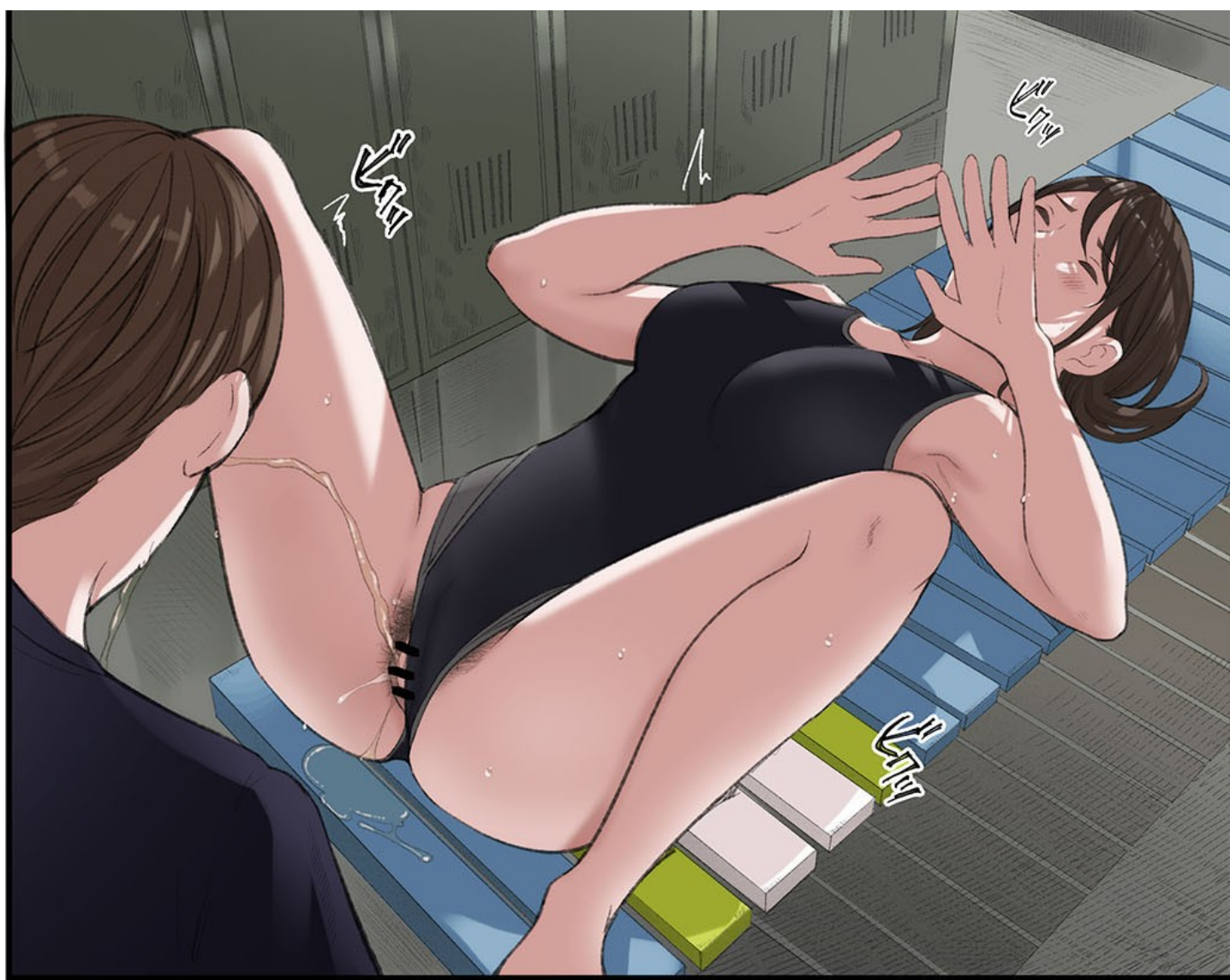
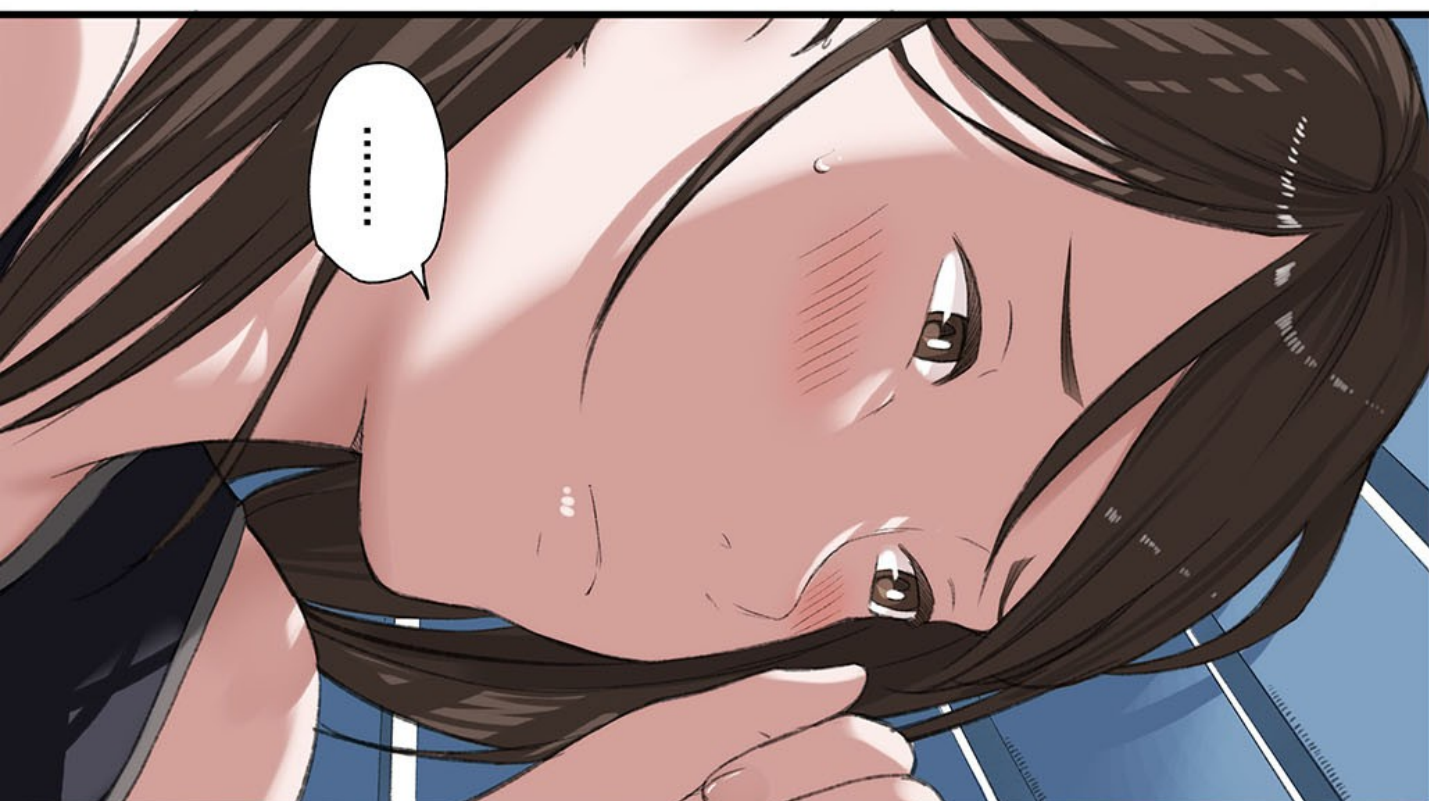
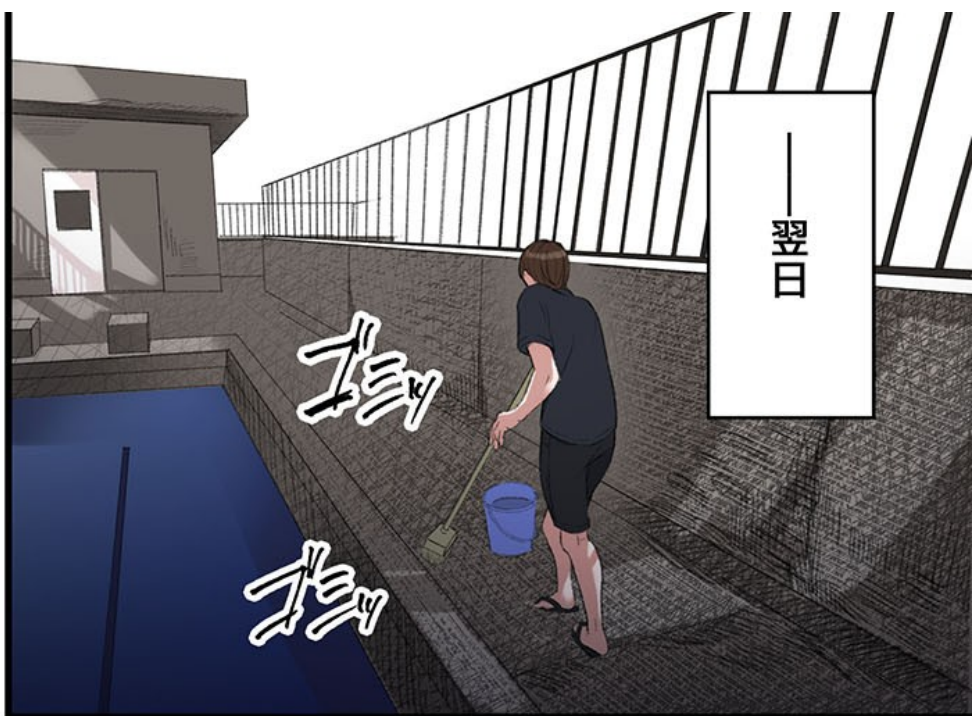
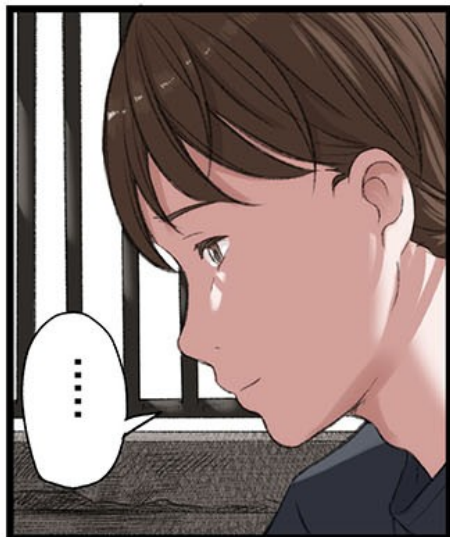


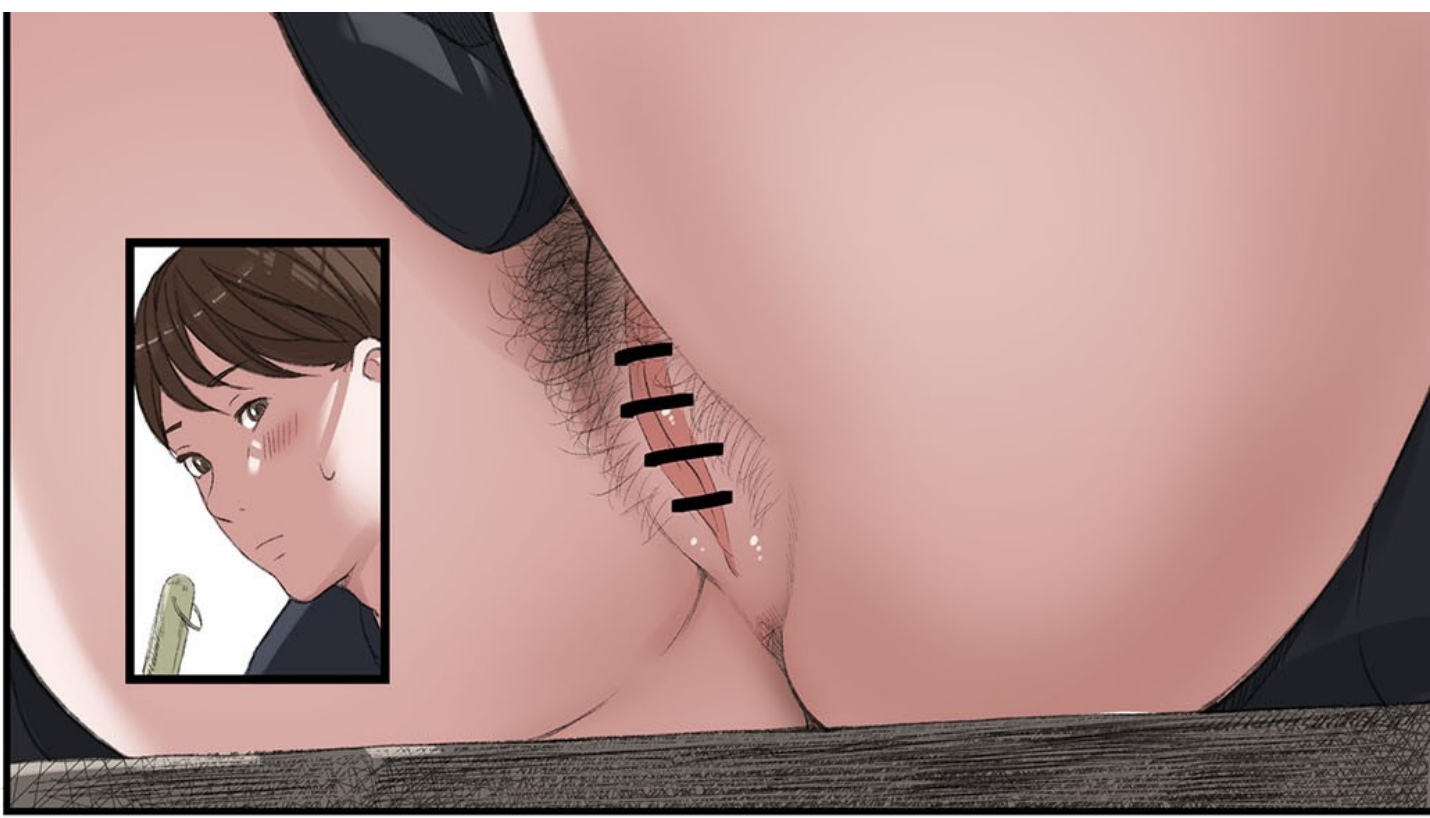


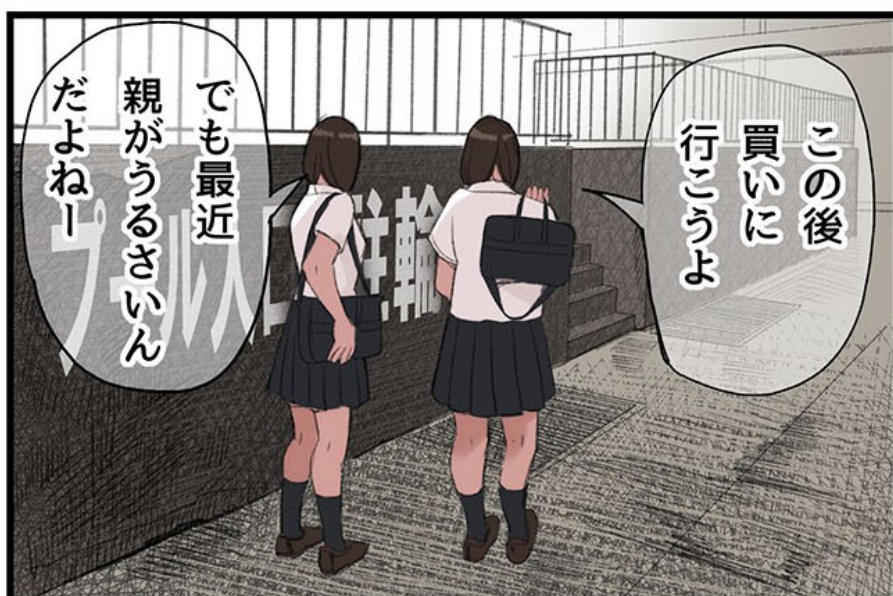
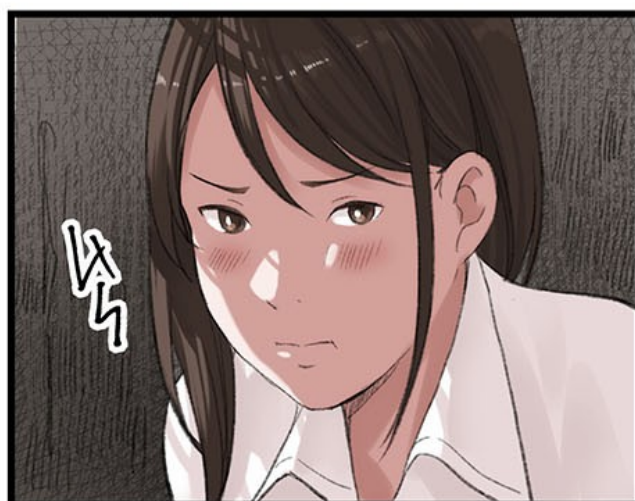
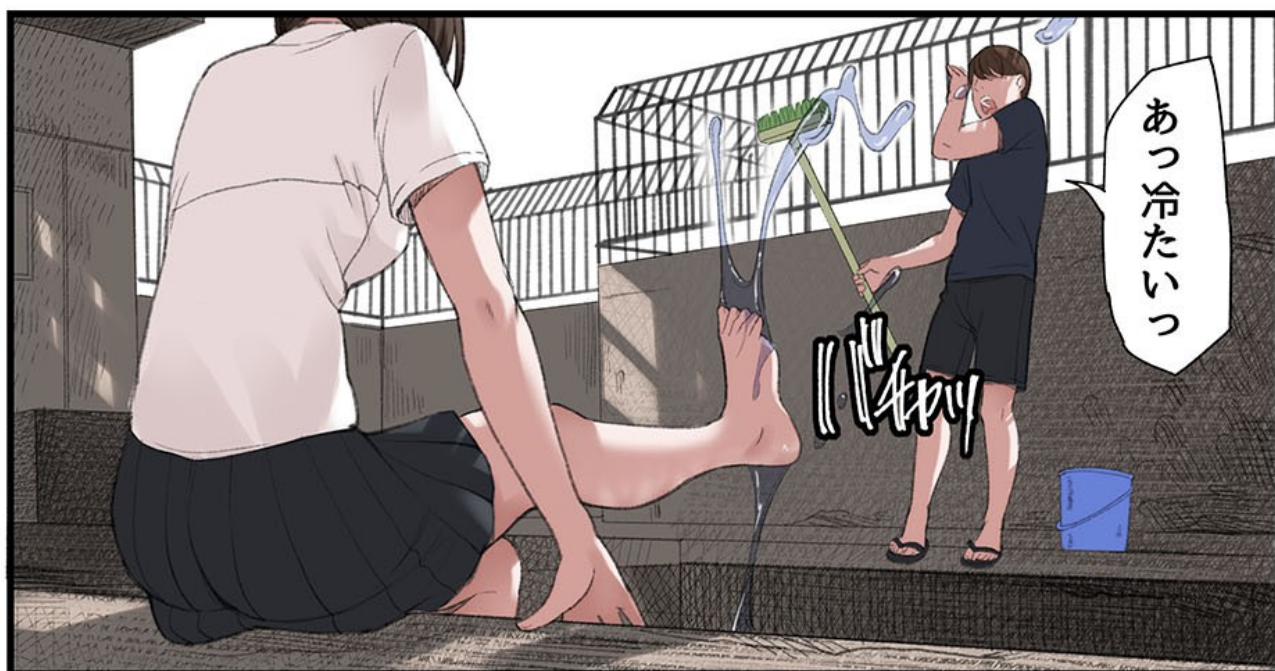


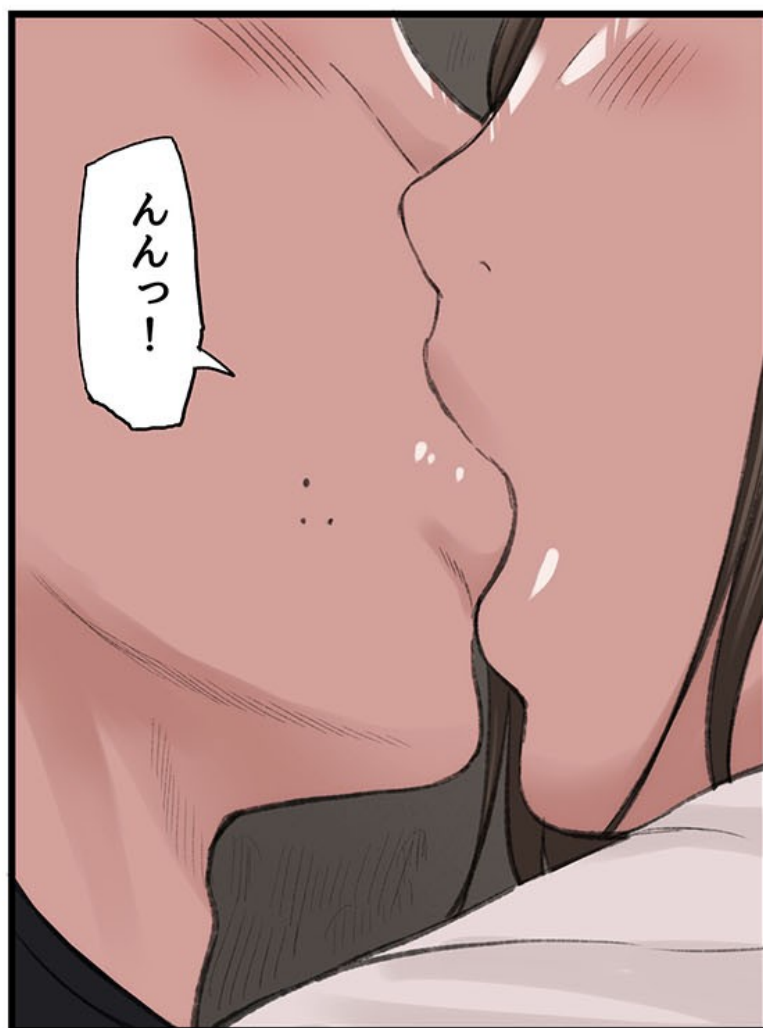
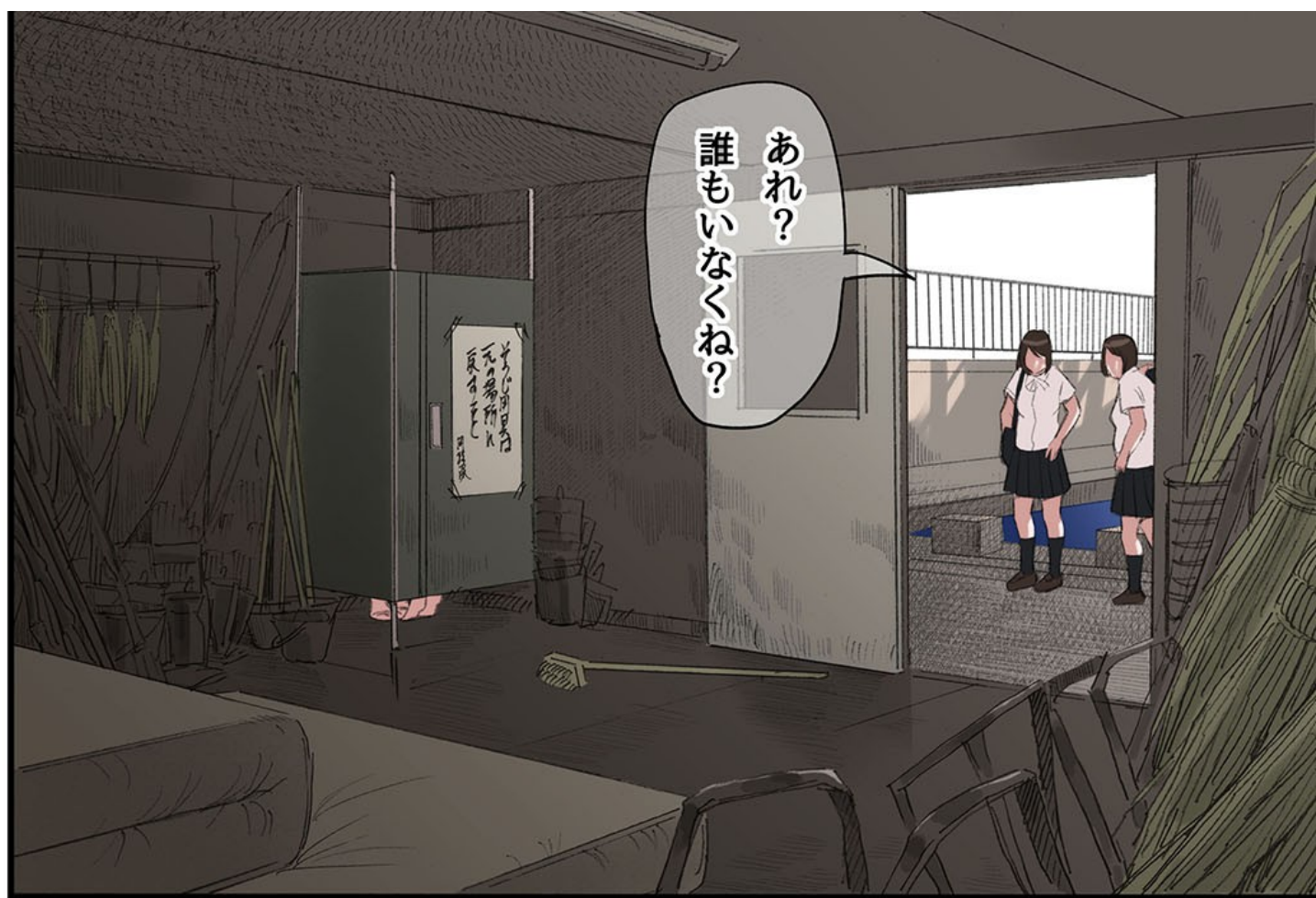


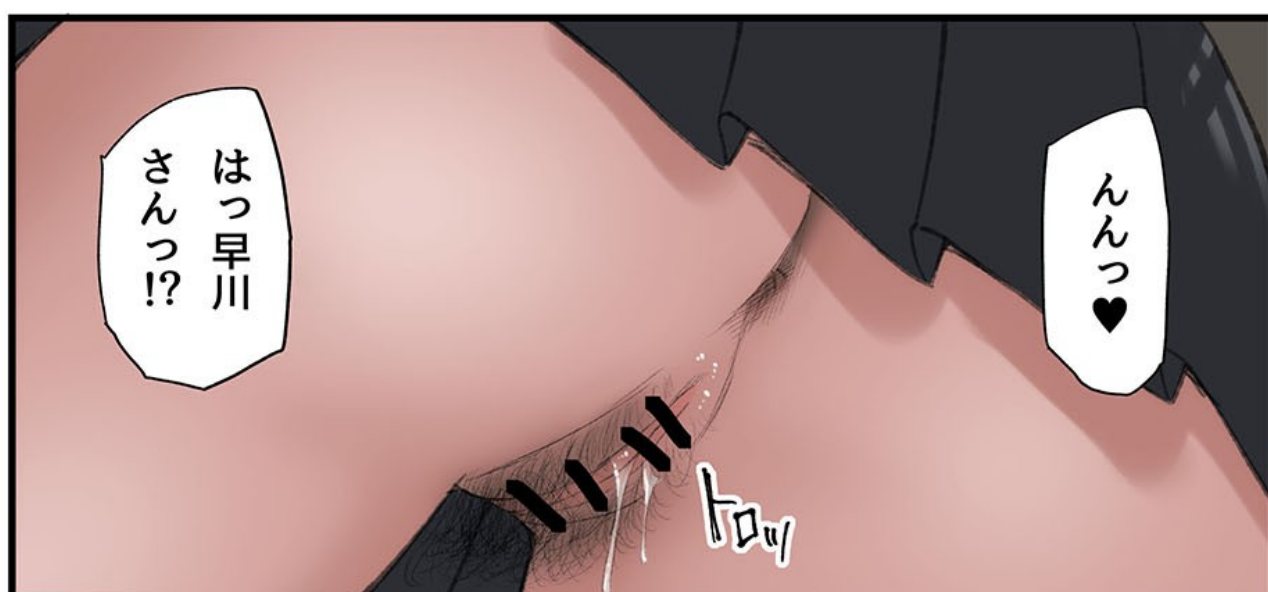








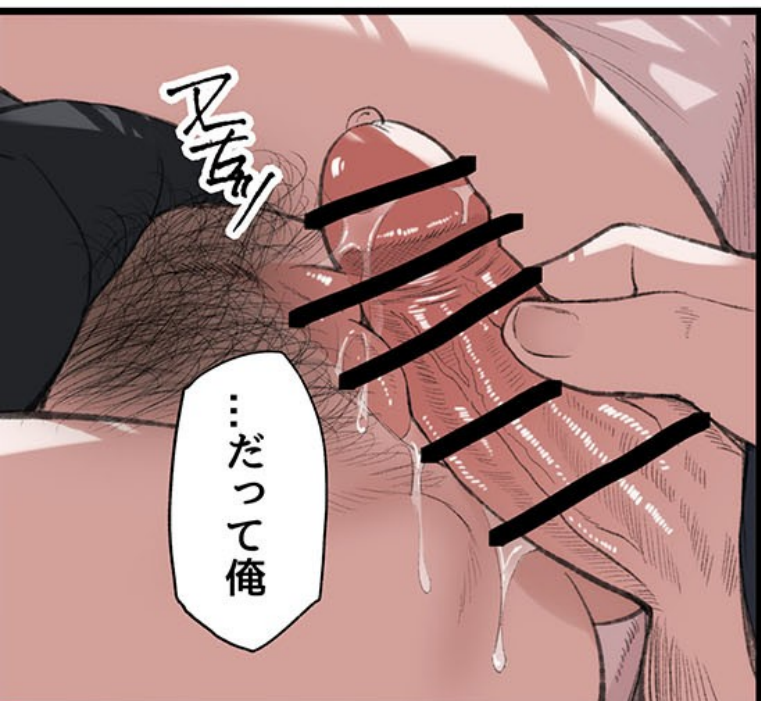
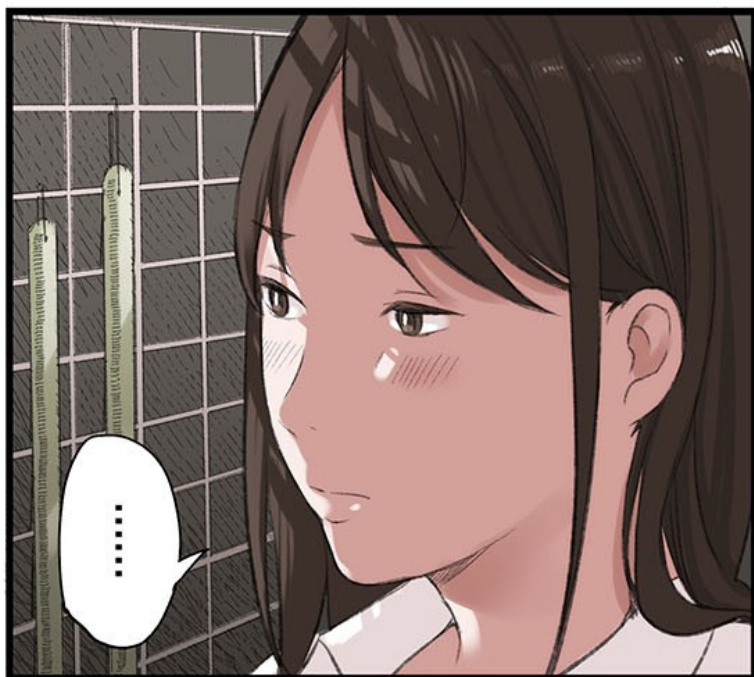




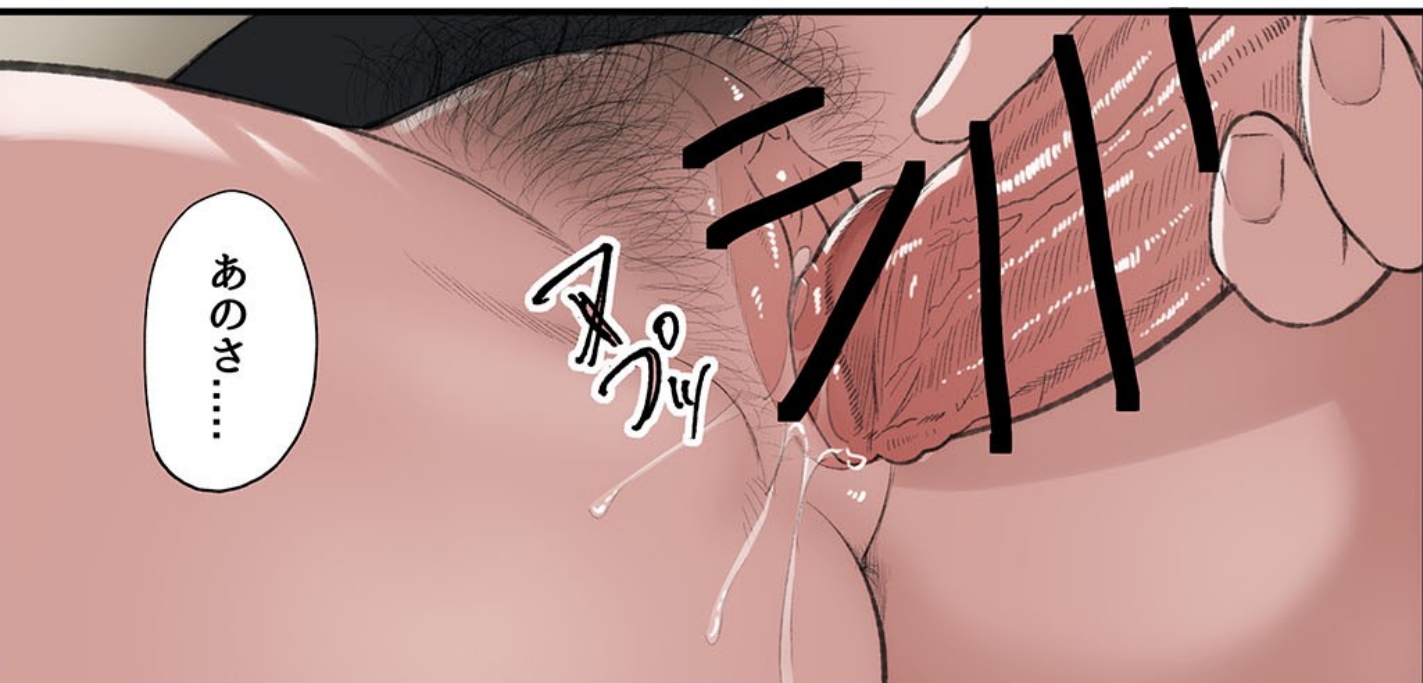
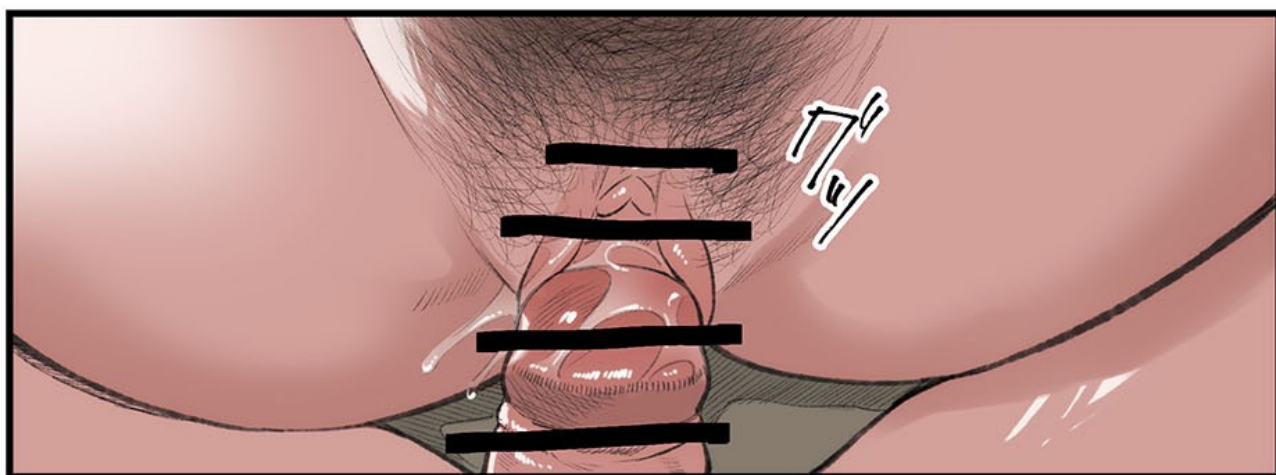


解決したって
どういう意味？

私…まだ
返事して
ないけど？

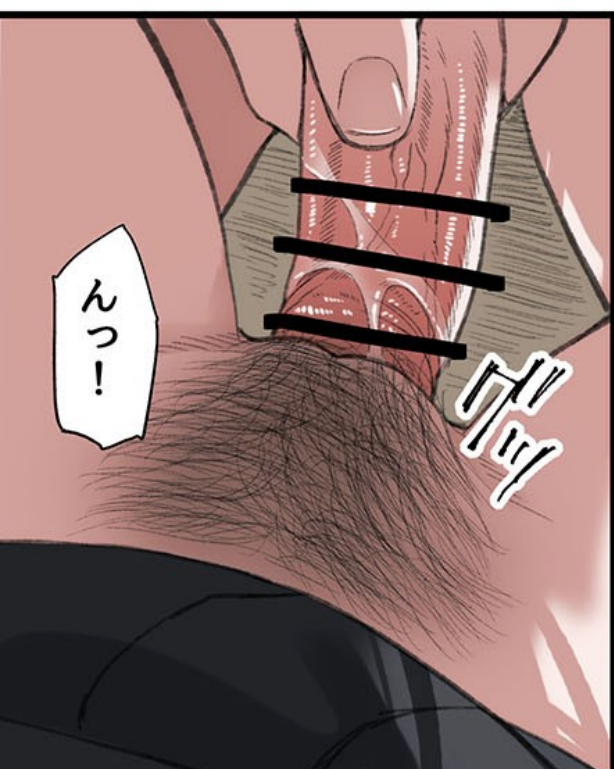






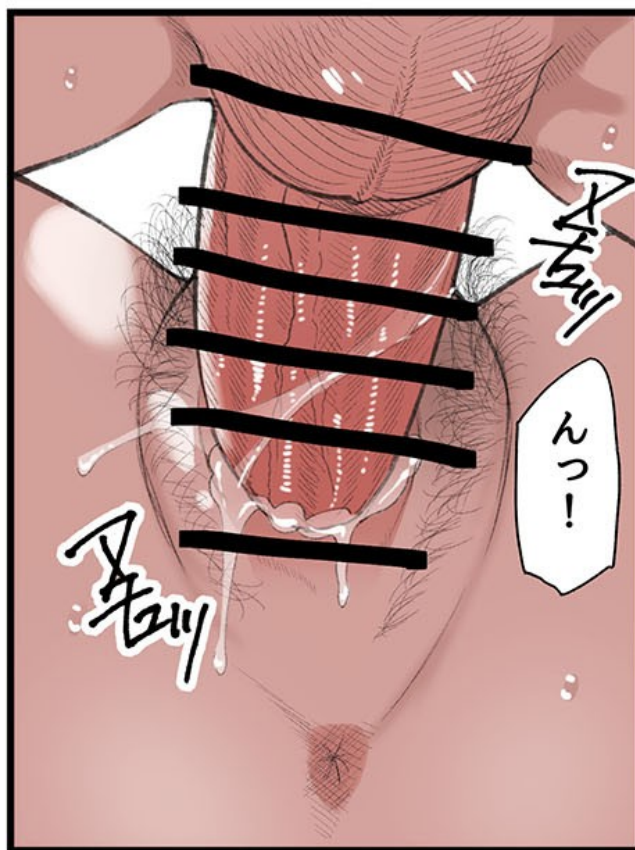
武久は初めて…
じゃないよね？

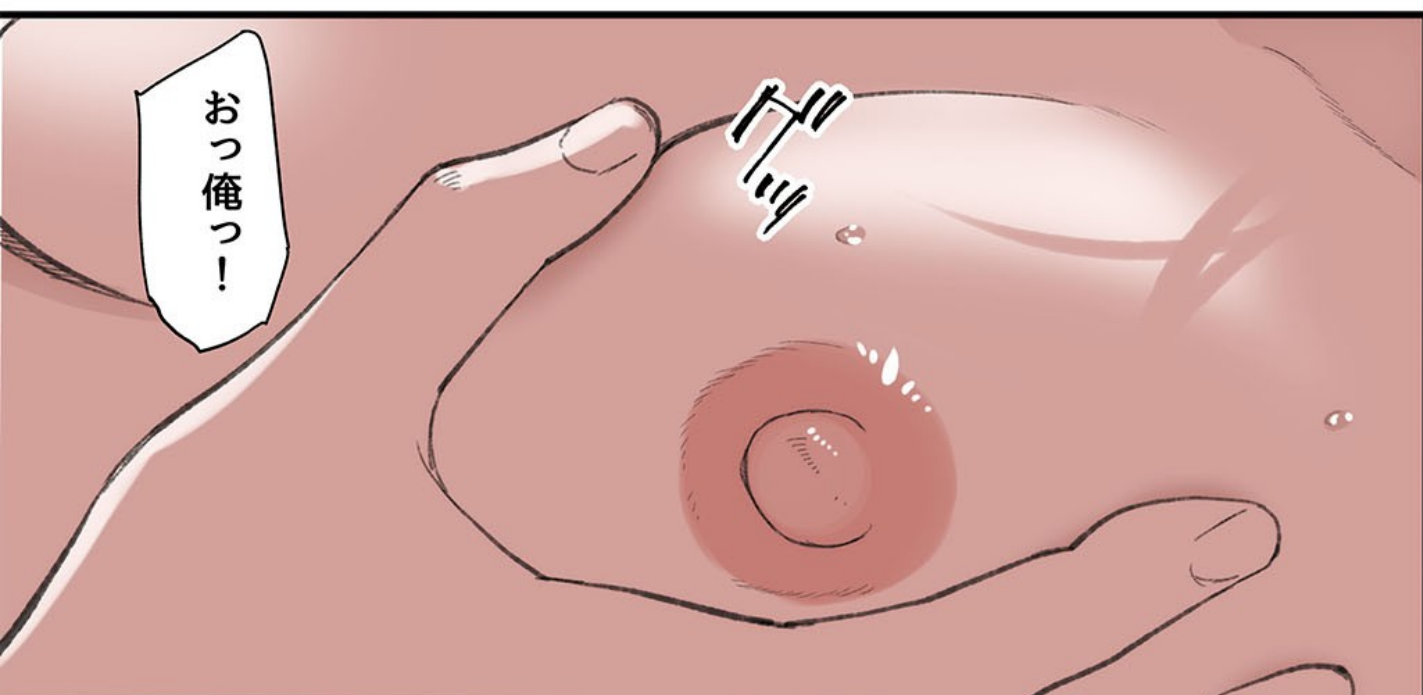
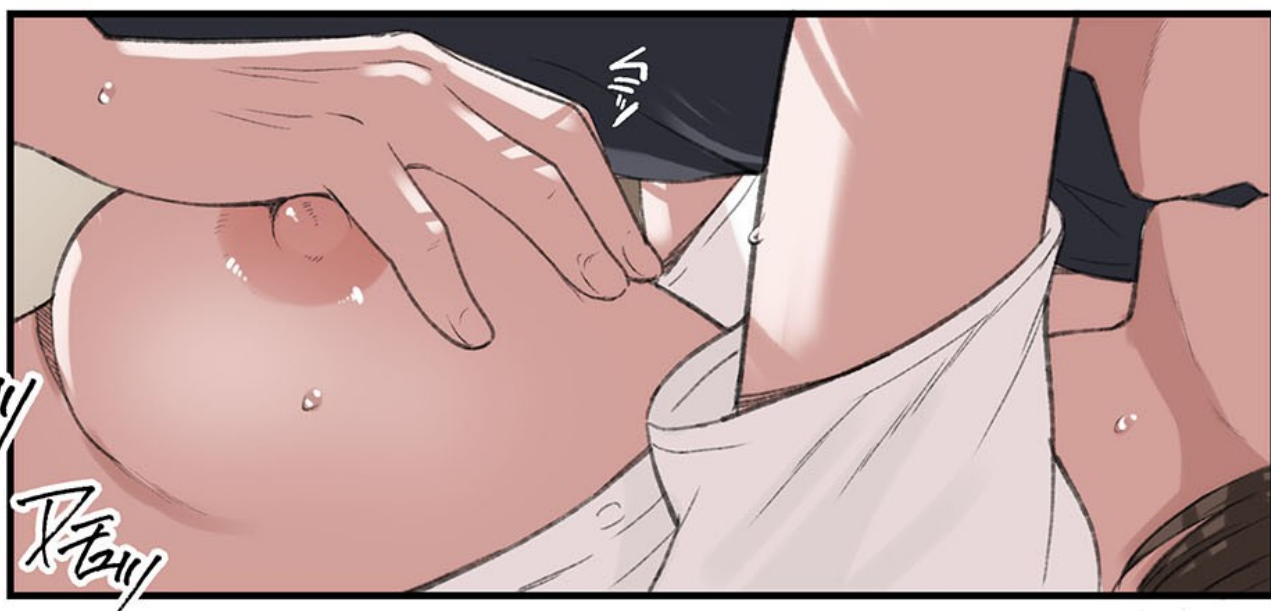




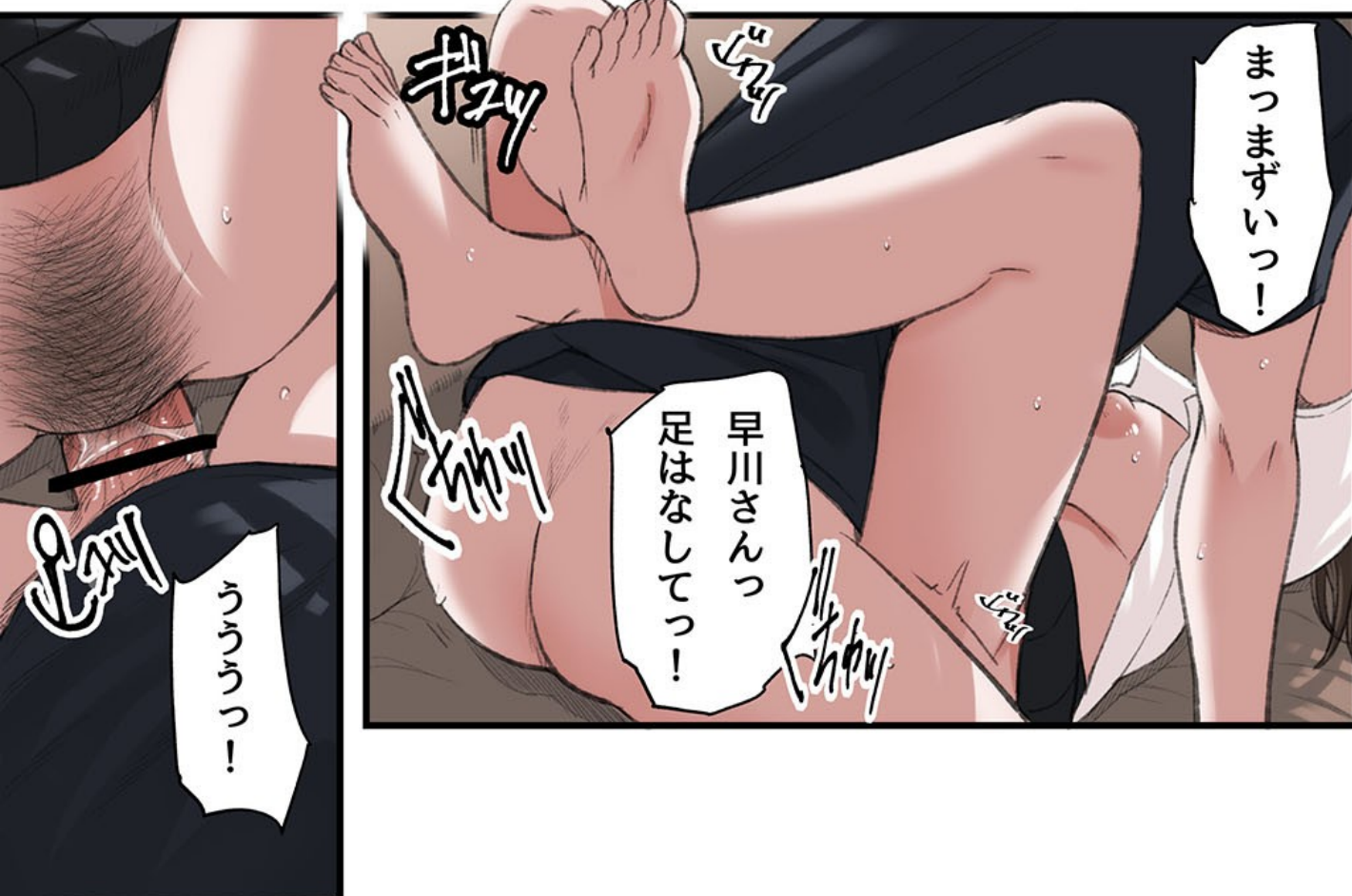




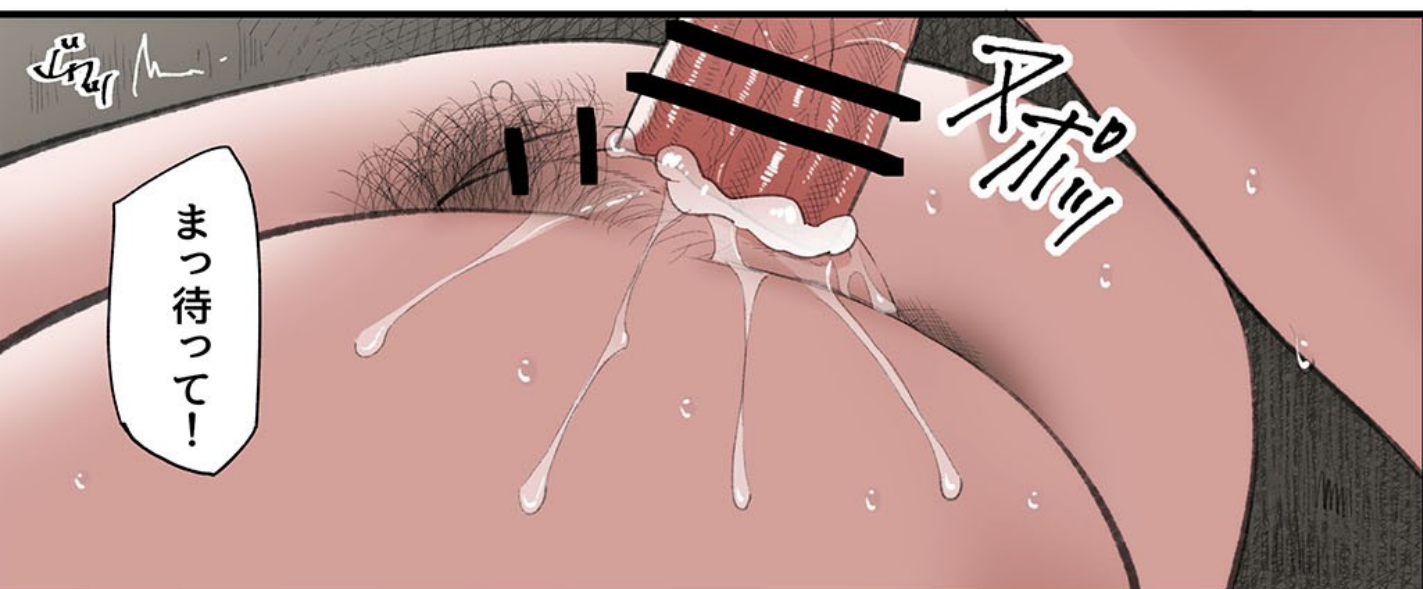


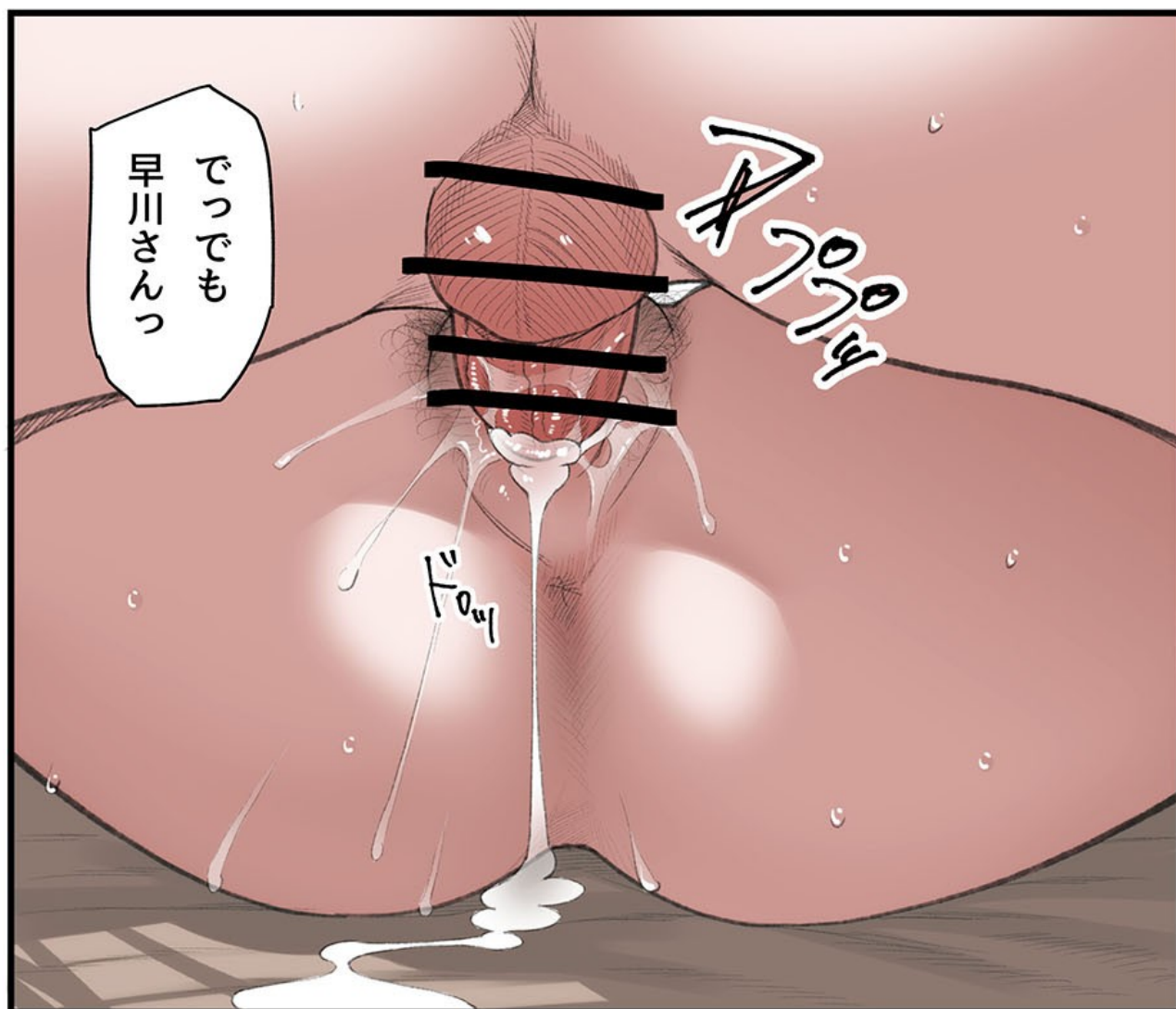


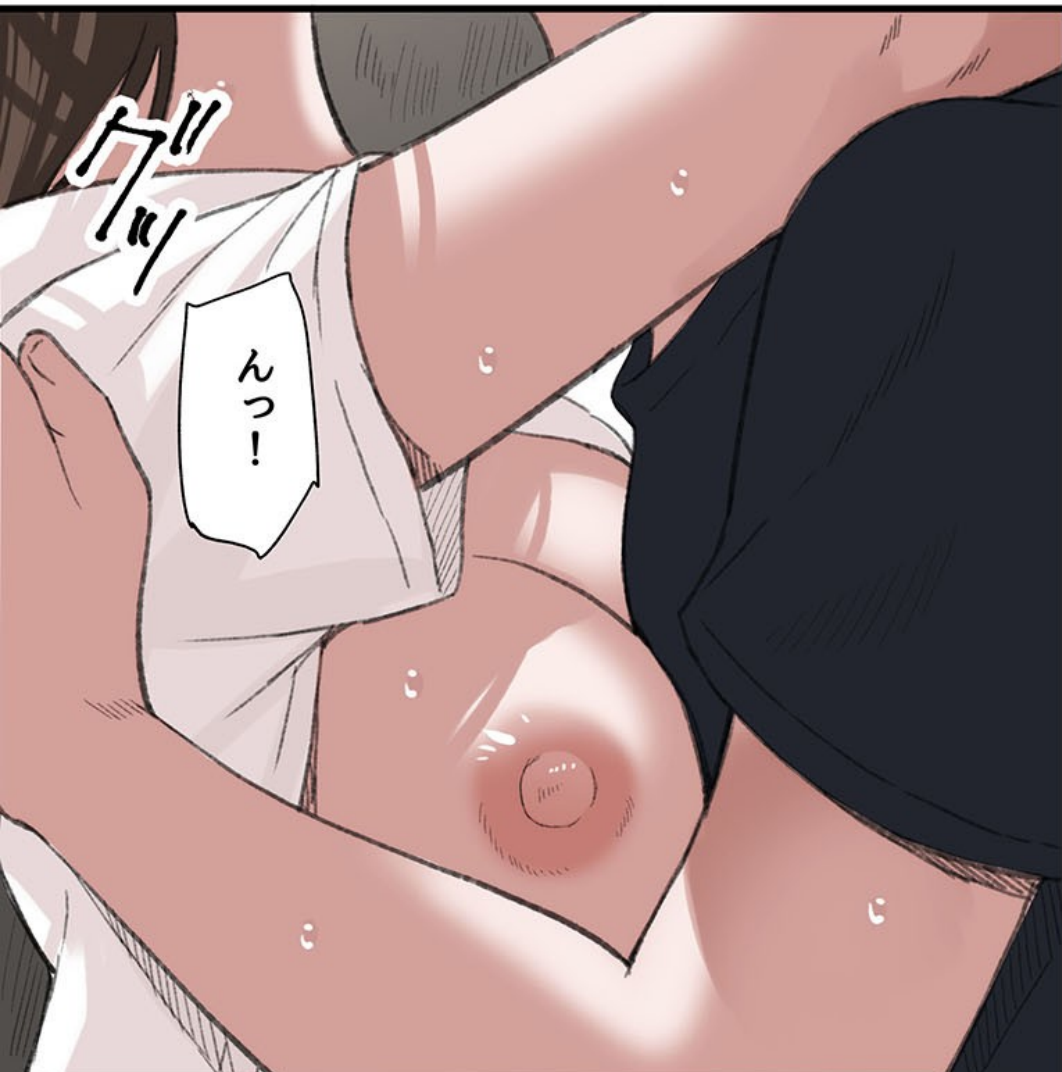
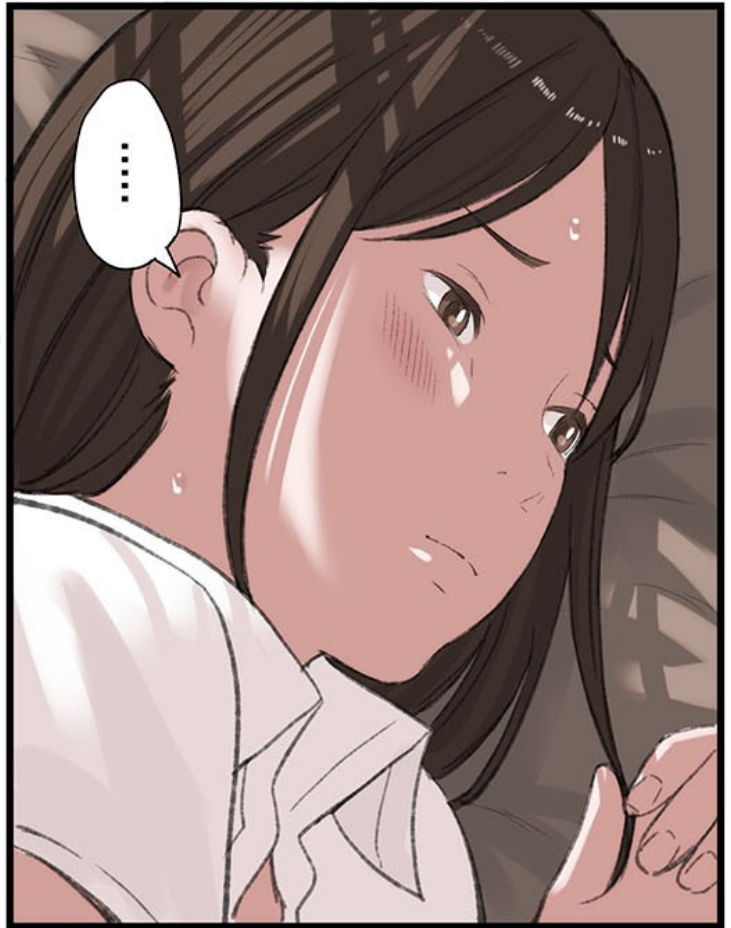


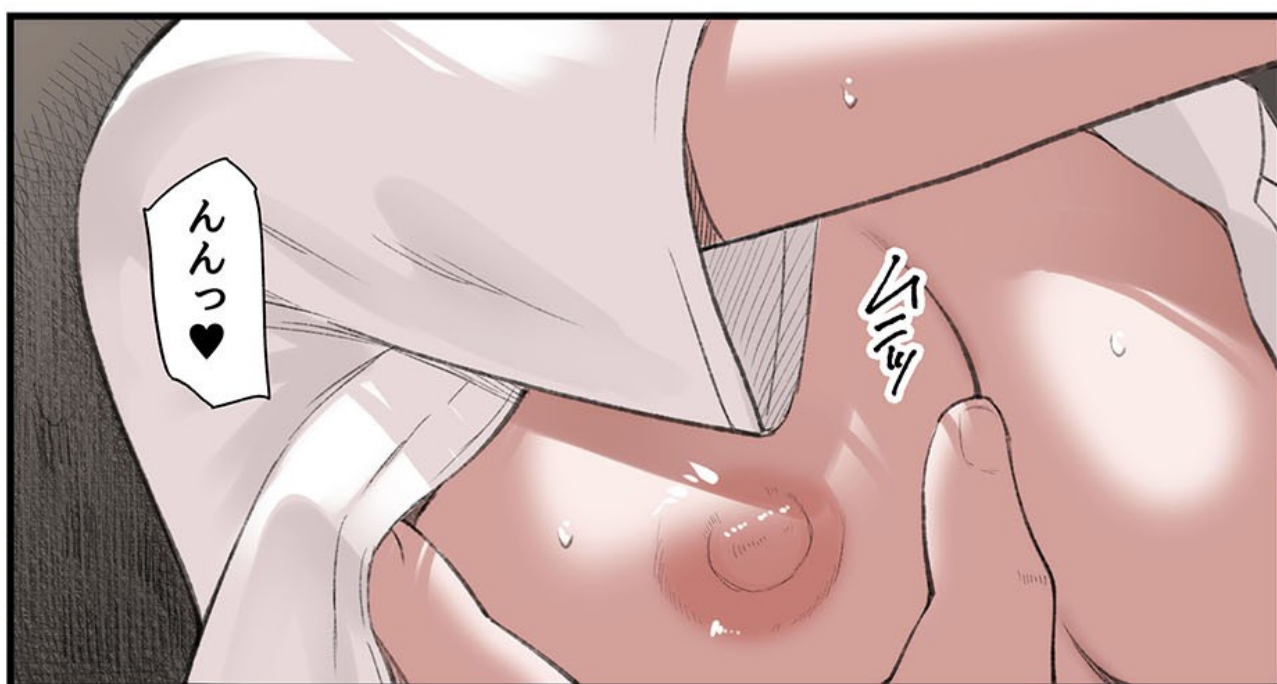
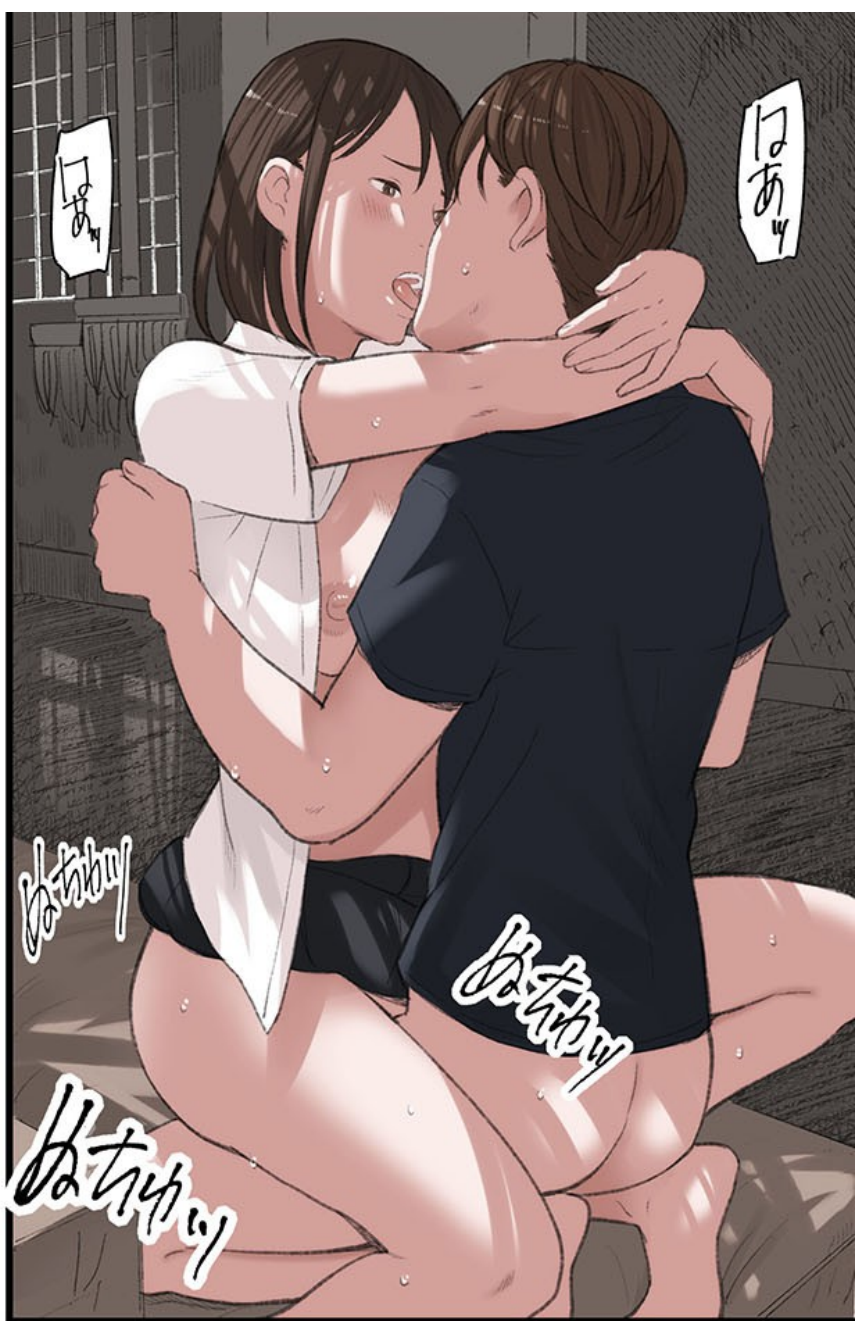
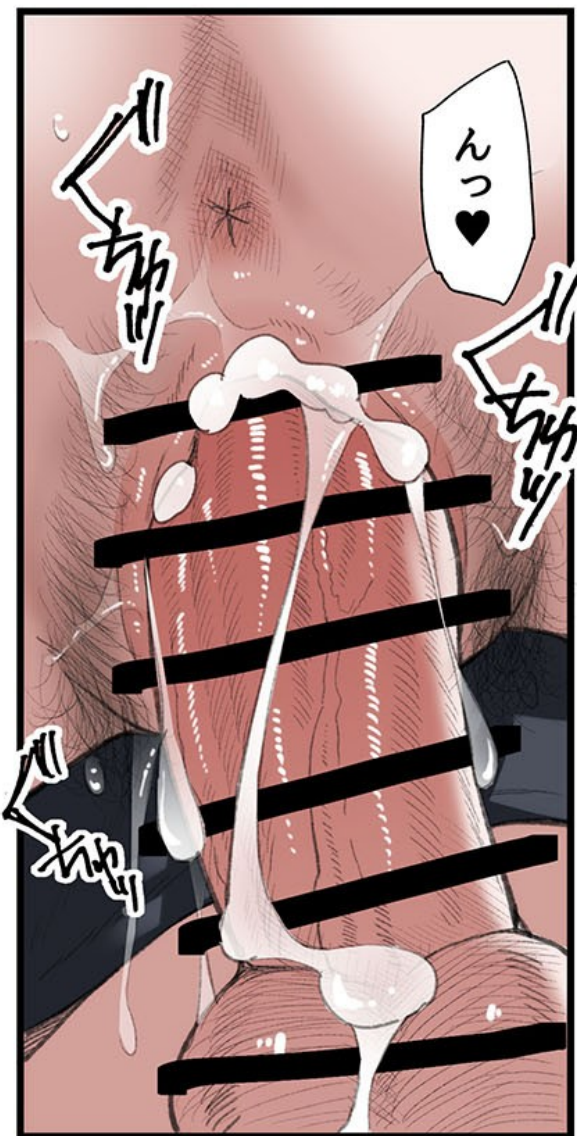


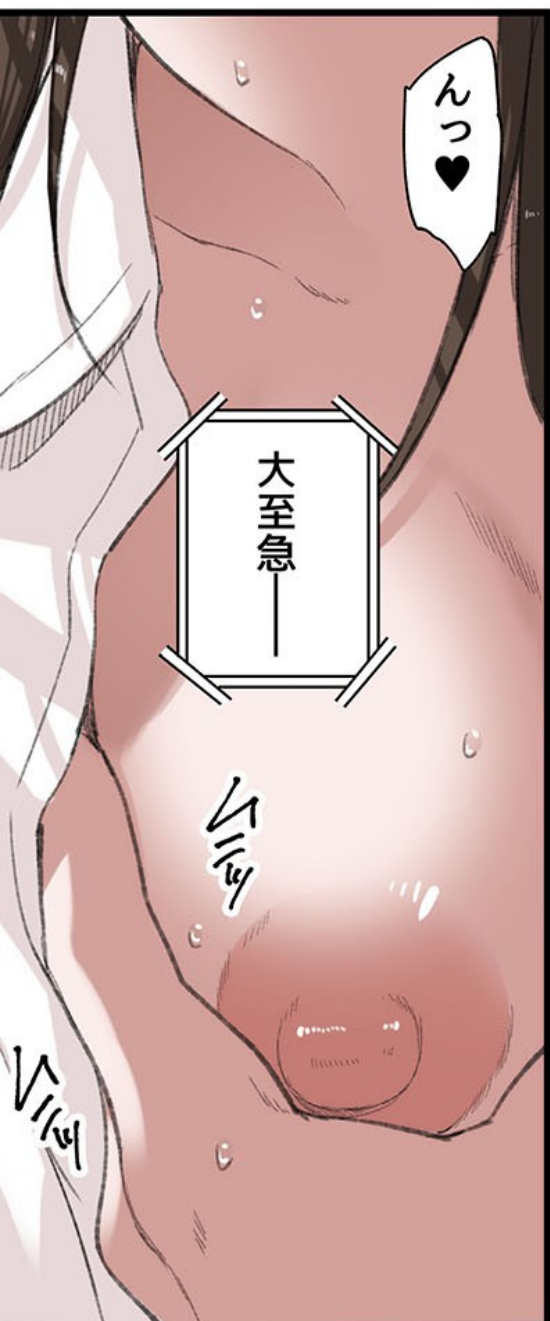
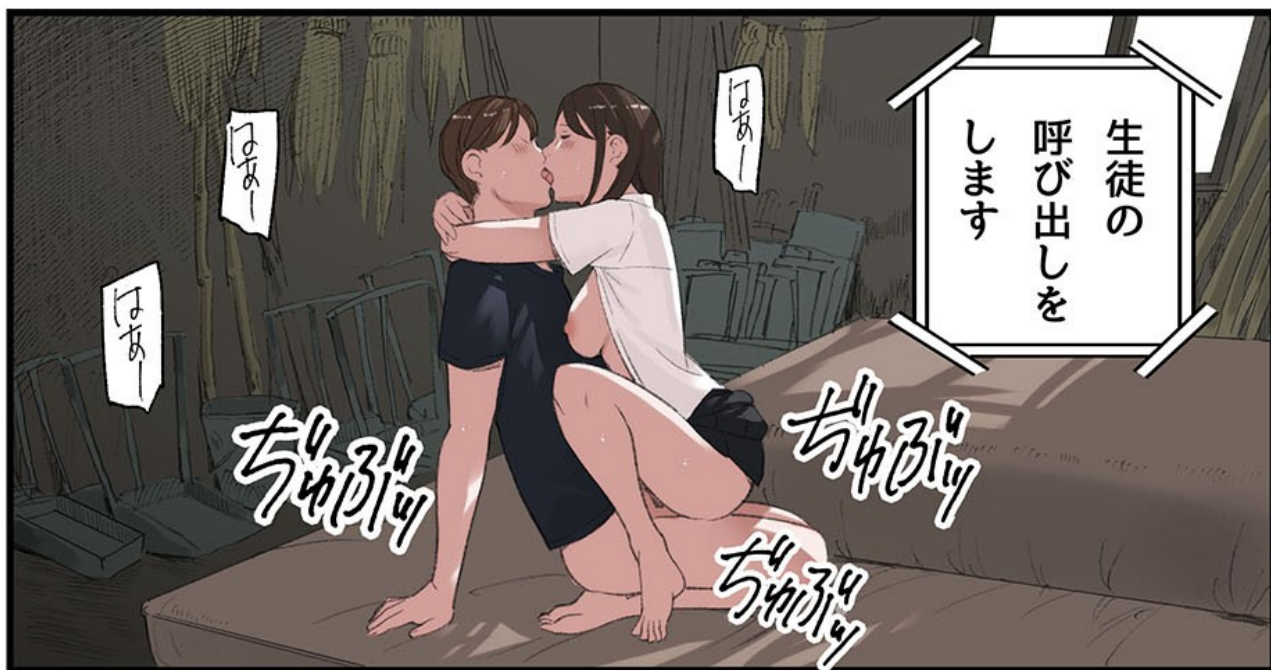


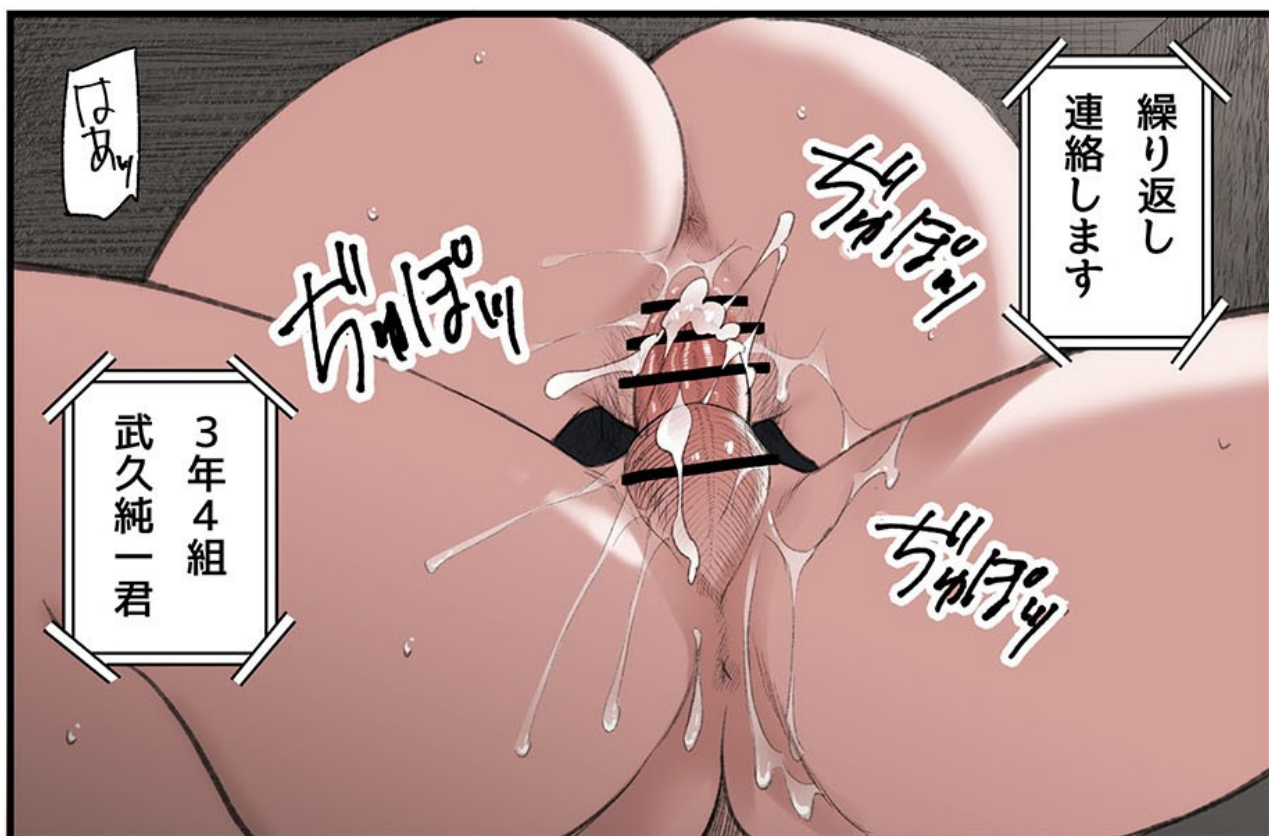


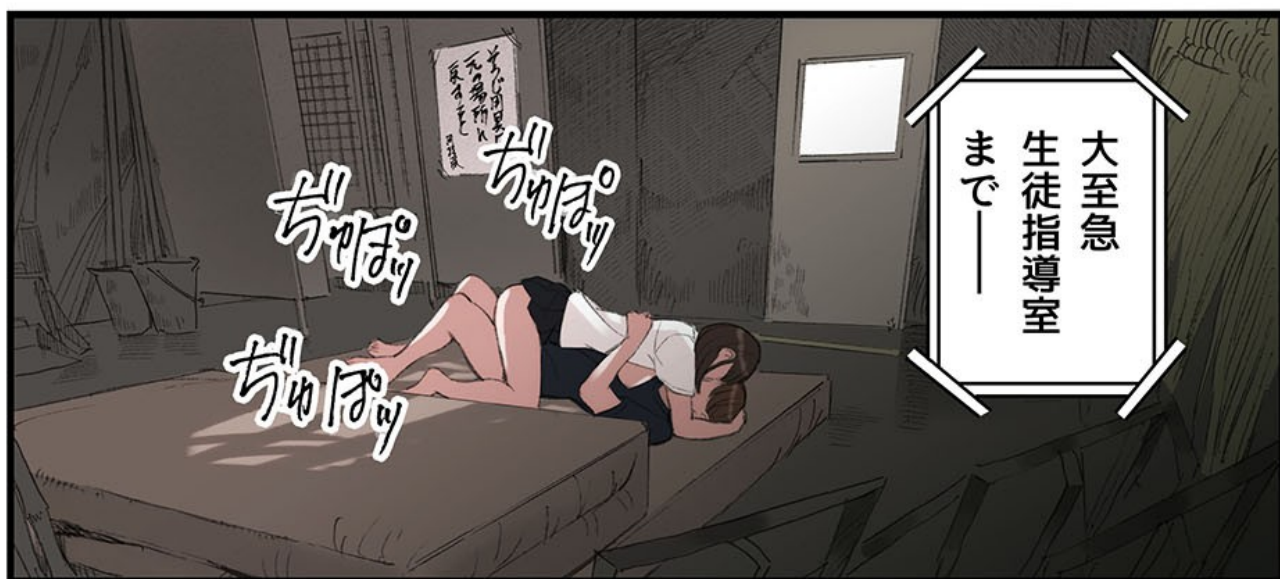


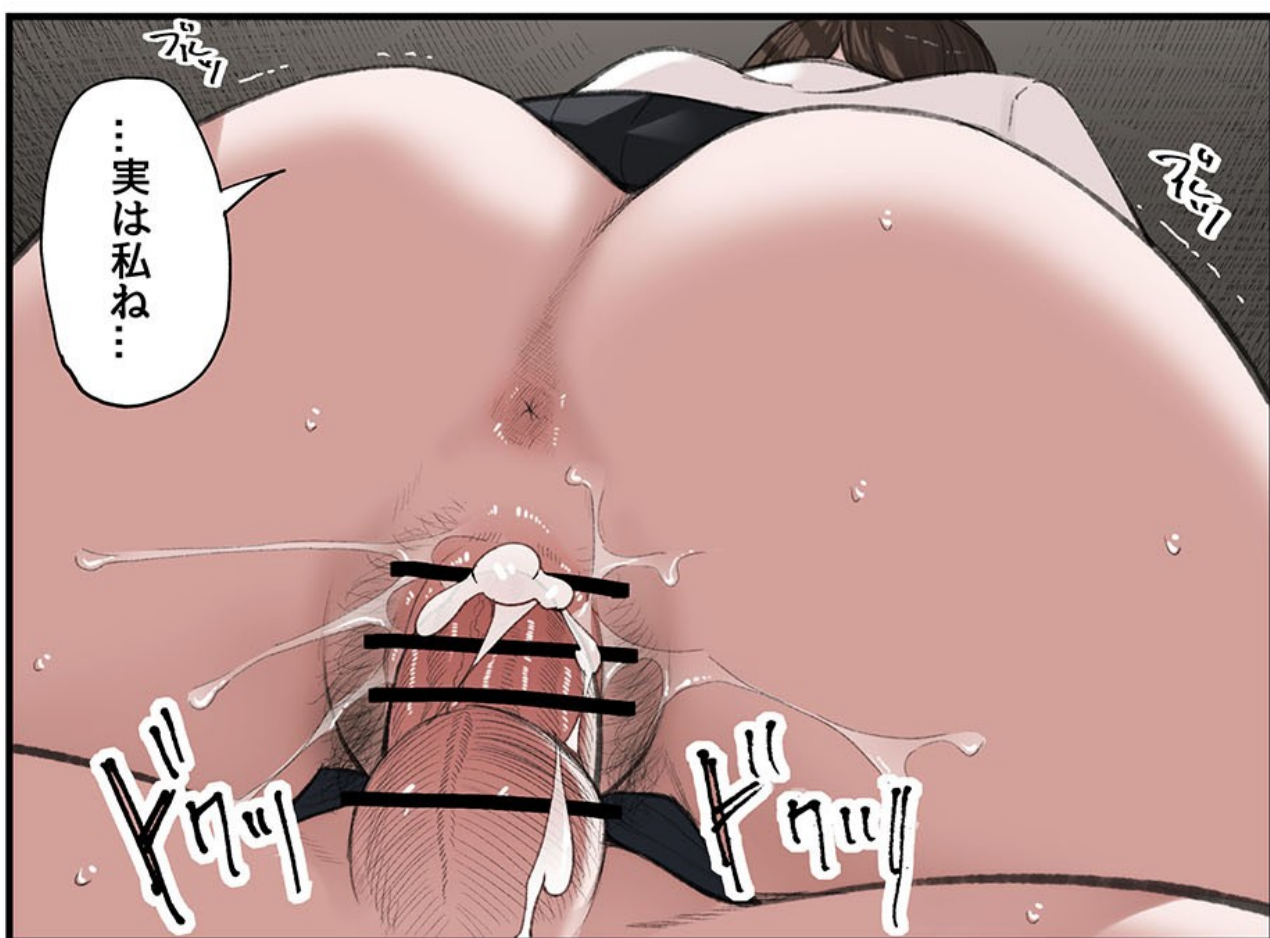








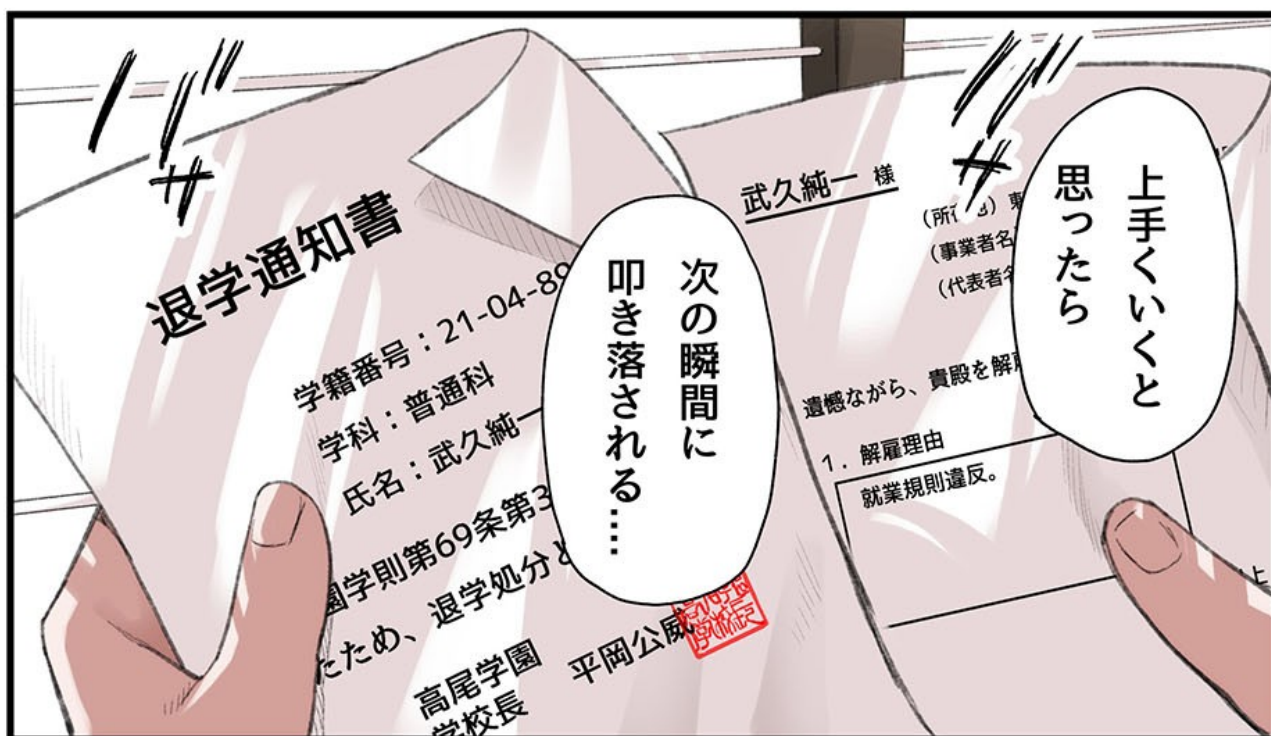


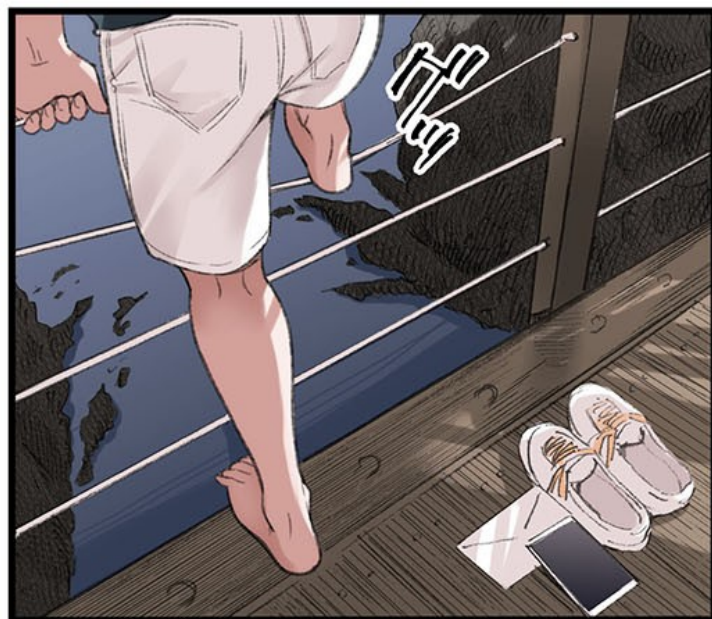
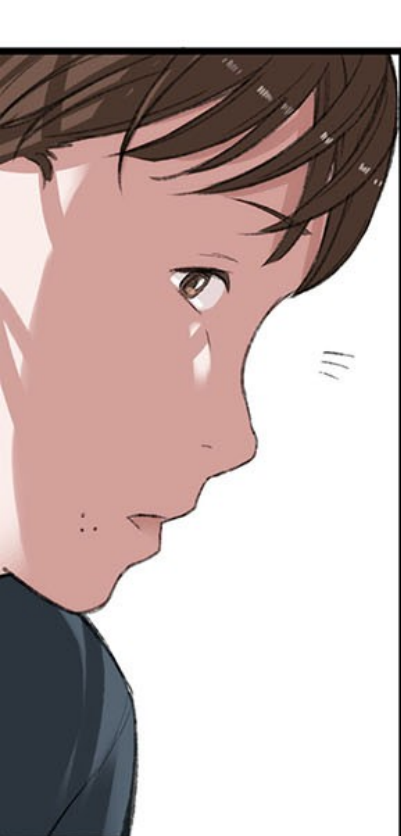
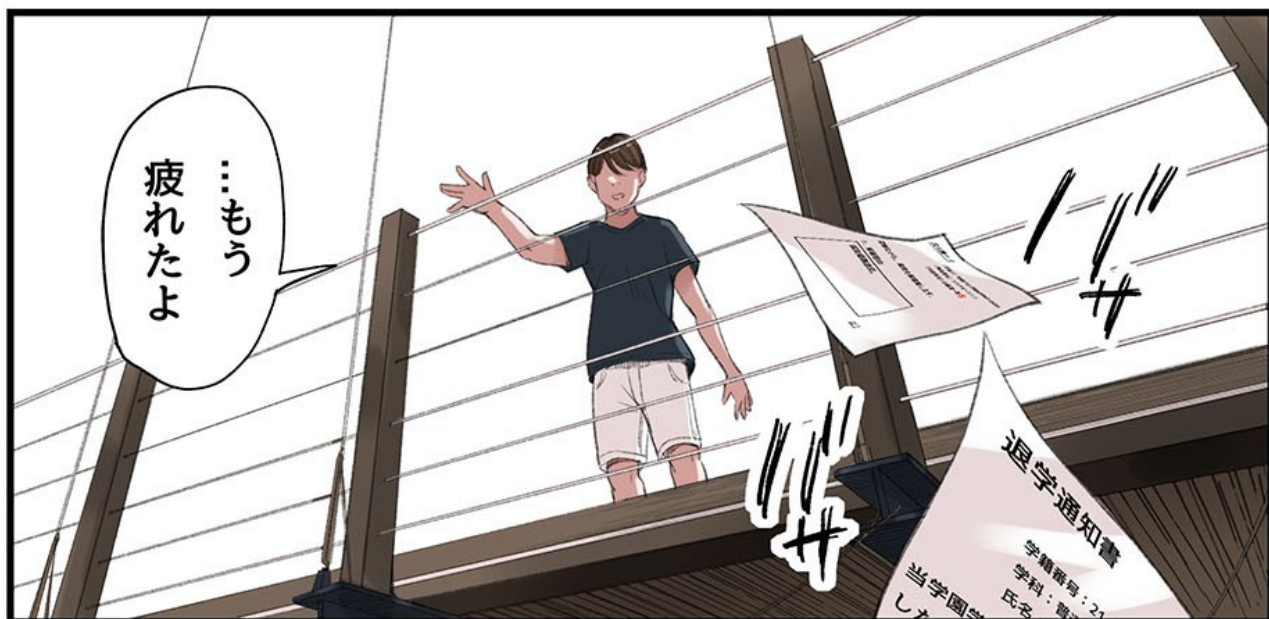


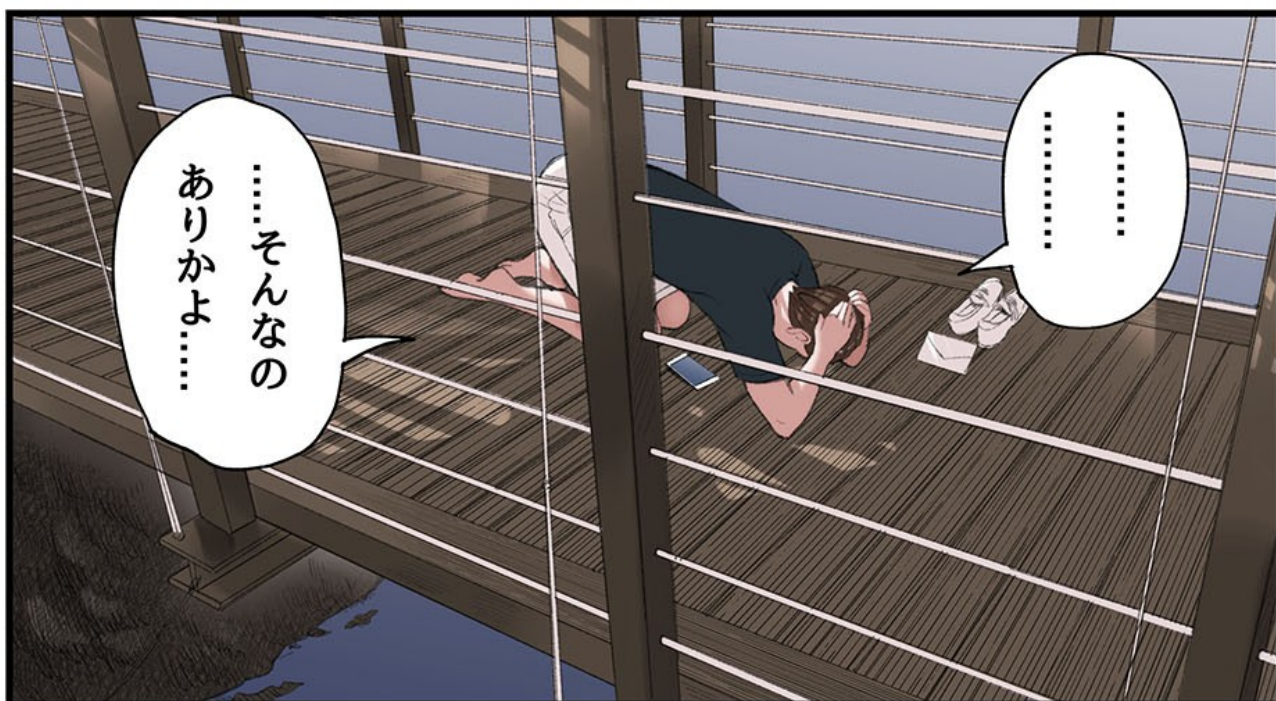
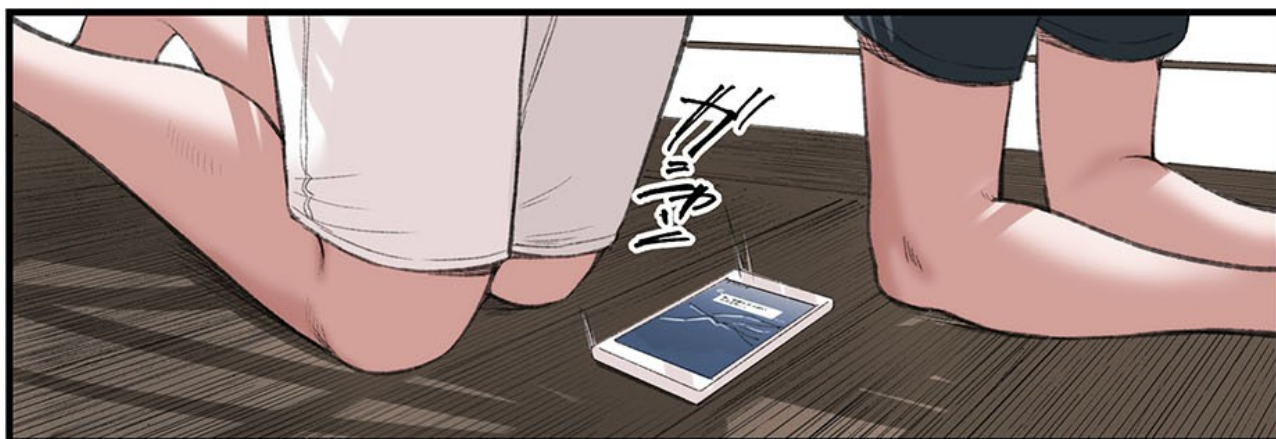




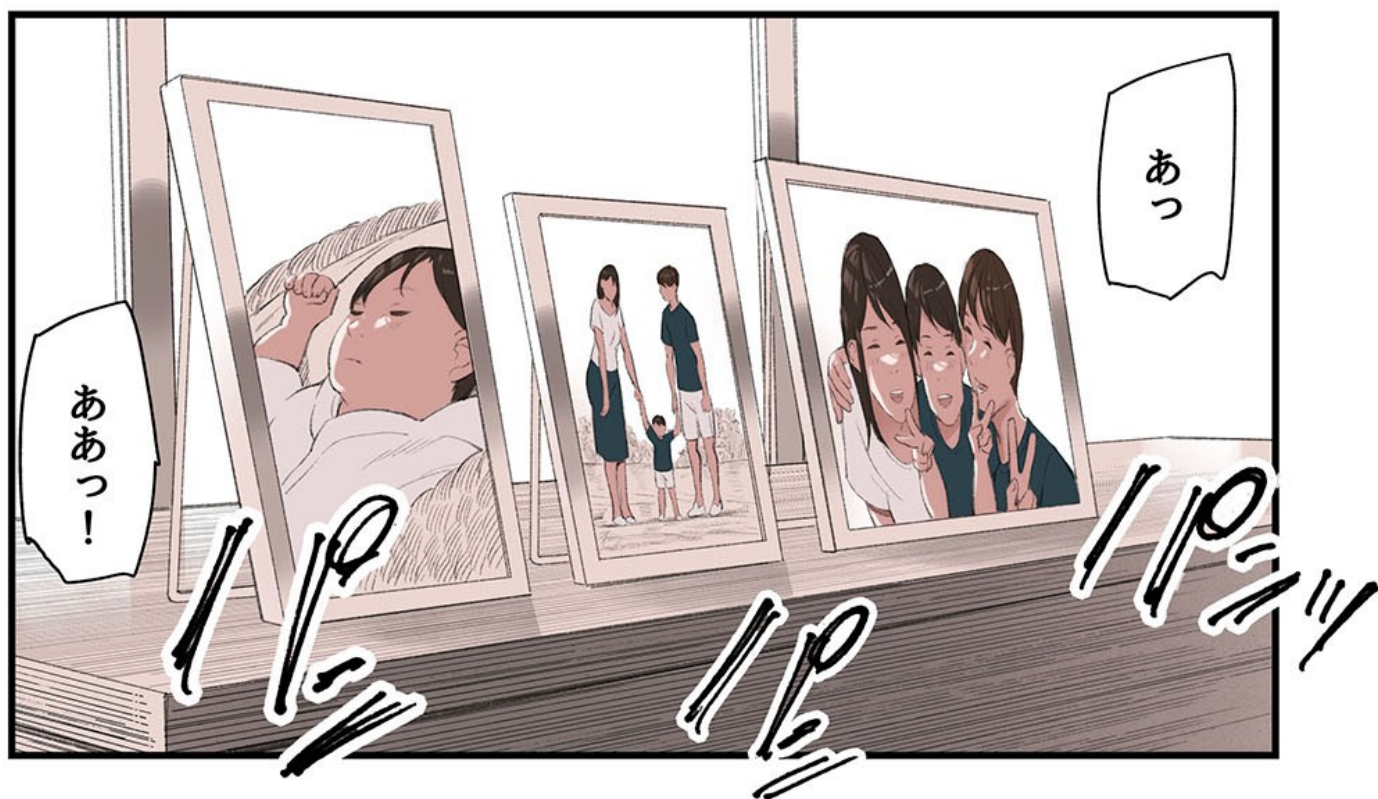


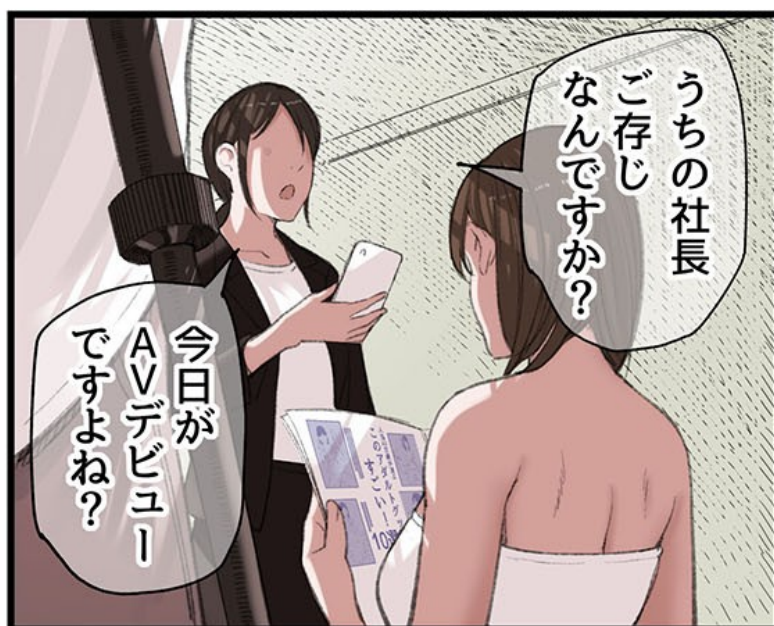












若きAV界の帝王

カリスマ
武久純一

本誌

独占インタビュー

武久君なら
絶対成功
できるって……

は自殺も考えた

んは現在、経営者、セクシー男優兼監督として目覚ましく、
いますが、学生時代の苦勞話をお聞かせいただけますか？

シルマザーの家庭で育ち、家計に余裕がなく、進学を諦めな
ない状況にありました。妹もいたので、母親にこれ以上迷惑
るわけにはいきませんでした。でも、どうしても大学に進学したく
て、入学費用を工面するために、女性用風俗店で働いていたのです。当時
の僕はまだ精神的に幼かったため、風俗での仕事をとても恥じていました。
なぜ大学進学にこだわったのですか？

武久 大学に進学しないと、社会で成功できないという思い込みがあっ
たからです。今思い返すと愚かです。

——風俗店での経験が、現在の成功につながったのですか？

武久 でも順調ではありませんでした。ひよんなことから風俗店での仕
事が当時通っていた学校側に知られてしまい、結果的に退学処分になり
ました。担任だった先生が随分と庇ってくれていたのですが、退学の決
定は覆りませんでした。また、退学の一週間前に、働いていた風俗店も
解雇されていたので、一度に居場所を失い、絶望しました。それで橋の
上から飛び降りて死のうと思いました（笑）。

——そこからどうやって立ち直ったのですか？

武久 妻（当時は同級生）が妊娠したのです。それで、死んでいる場合
ではないと、男優の募集に応募しました。それからはただひたすらに仕
事に邁進しました。ありがたいことに、女優さんの方から指名してい
たことが増え、段々と生計を立てることができました。これも、風俗
店勤務で得た経験があったからこそだと思います。

現在は二つの会社の経営者

——起業した経緯についてお聞かせください。

武久 幸いにも、たくさんさんの仕事をいただき、それらをこなしていく中
自分でも作品を作りたいと考えるようになりました。雇われている
身だと、どうしてもクライアントの意向に従わなければならず、自分のや

おわり

僕・・・女性用風俗でバイトしてま・・・日～

【吉川のマンション】

武久、吉川の肛門～性器周辺に蒸しタオルを当て（吉川は仰向け）

吉川「・・・さすがに恥ずかしいから頬を紅くさせないで目をそらす。

武久、蒸しタオルをじっくりと肛門に当

武久「・・・そろそろいいかな？」と蒸しタオルをはがす。

湿潤した性器から分泌された淫液が、性器と蒸しタオルの間を架橋する。

武久「・・・」と見て見ぬふりを

武久「クリーム 塗りますね？」とエローームを出すと、

肛門周辺に塗る。

吉川「んっ・・・」と身体を震わせる。ヴァーから湿し、液が表面に浮き出る。

【居酒屋】

——1時間前

吉川、ゴクゴクゴクとチューハイを飲む。吉川はジーンズにTシャツ姿である。

武久「先生 もうそのくらいにしておいた方が・・・」と食べ終わったホタテの貝殻を弄る。武久の左手には結婚指輪が嵌められている。

吉川「半分は武久のせいで学校クビになっただろ？ 少しは付き合え」とグラスを揺らす。氷がカチカチと鳴る。吉川は酩酊状態である。

武久「でももう 11 時ですよ？ 明日も塾の講義があるので・・・」とスマホを見る。

吉川「はあ～ なんで彼氏できないんだろう？ だって・・・悪くないと思うんだけどな

あ・・・」と机に突っ伏しながら、箸置きを弄る。

武久、スマホを操作する。

LINE 画面

武久「ごめん吉川先生の愚痴がまだ終わらないで寝て」

つばさ「わかった 気を付けて帰ってね」

吉川「・・・ズルいよな 武久だけ幸せになって・・・何かアドバイスしてよ？ どう

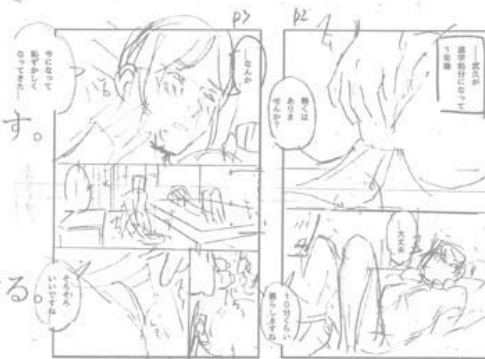
したら私にも彼氏ができる？」と羨ましくつぶやいて寝る。

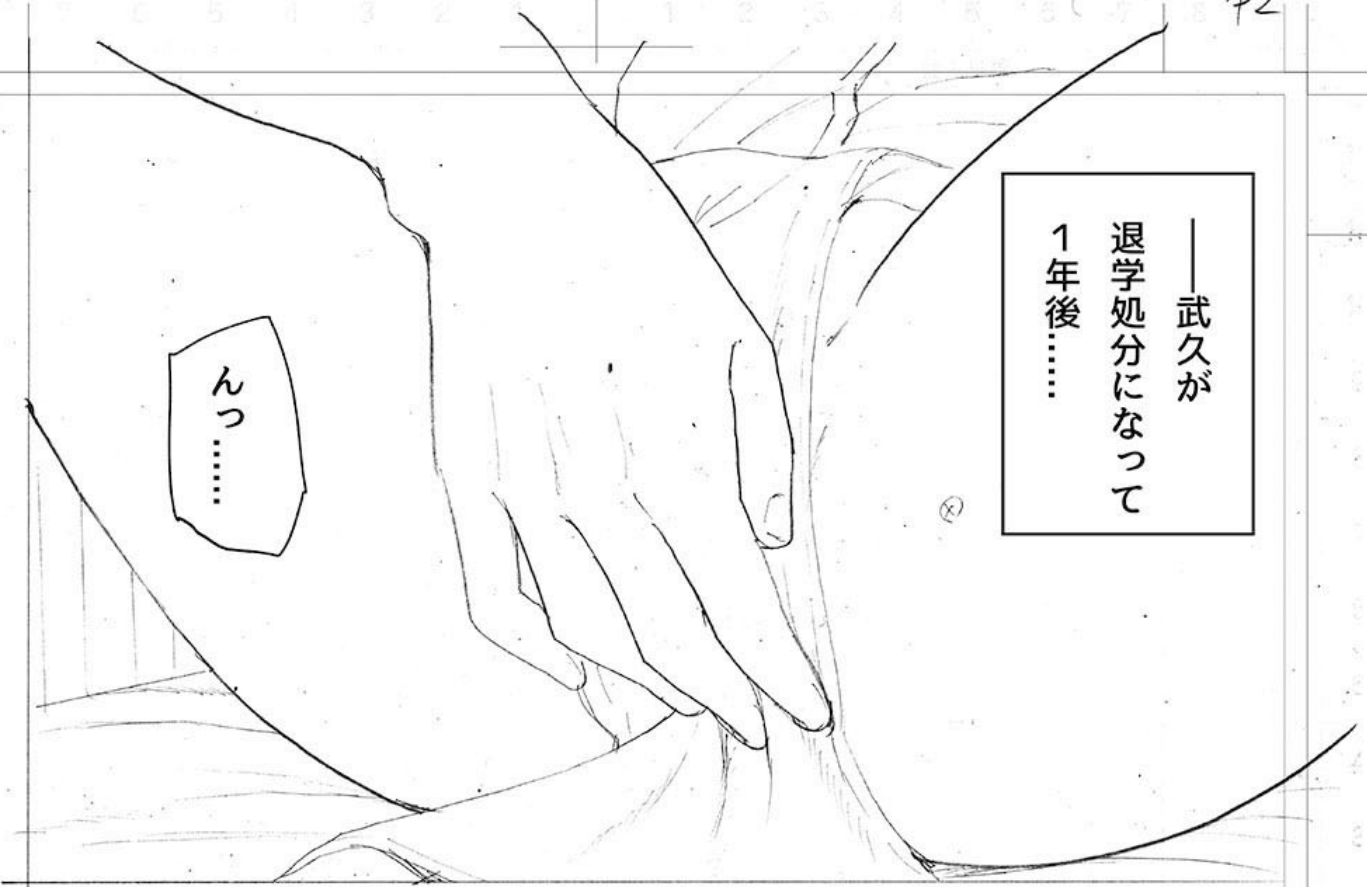
武久「・・・先生は先生のままでいいと思いますけど・・・」と苦笑いする。

吉川「だからそれじゃあダメなんだって・・・」と武久に顔を近づけてくる。

武久「・・・そうですね・・・少し言いづらいんですけど・・・強いて言うなら・・・」

と口ごもる。





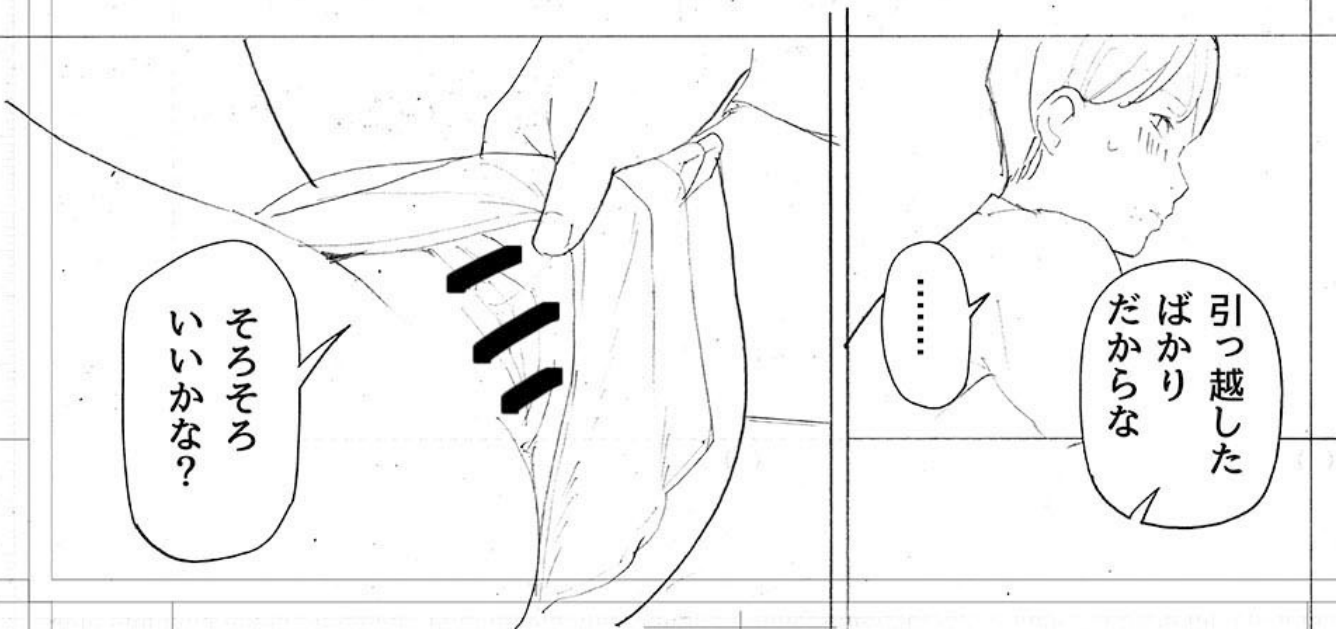
— 武久が
退学処分になって
1年後……



10分くらい
蒸らしますね？

...

※サンプルはアナログ原稿を
スキャンしたもので
完成原稿とは縮尺&細部が
異なります。







んっ...

— 30分前
駅前の
個室居酒屋にて

先生
もうそのくらいに
してくださいよ

明日も塾の講義
あるんでしょ?

ダブルアイス
200ml



うるさいなあ

半分は武久の
せいで学校クビに
なったんだぞ？

少しくらい
付き合え



はあ~~~~



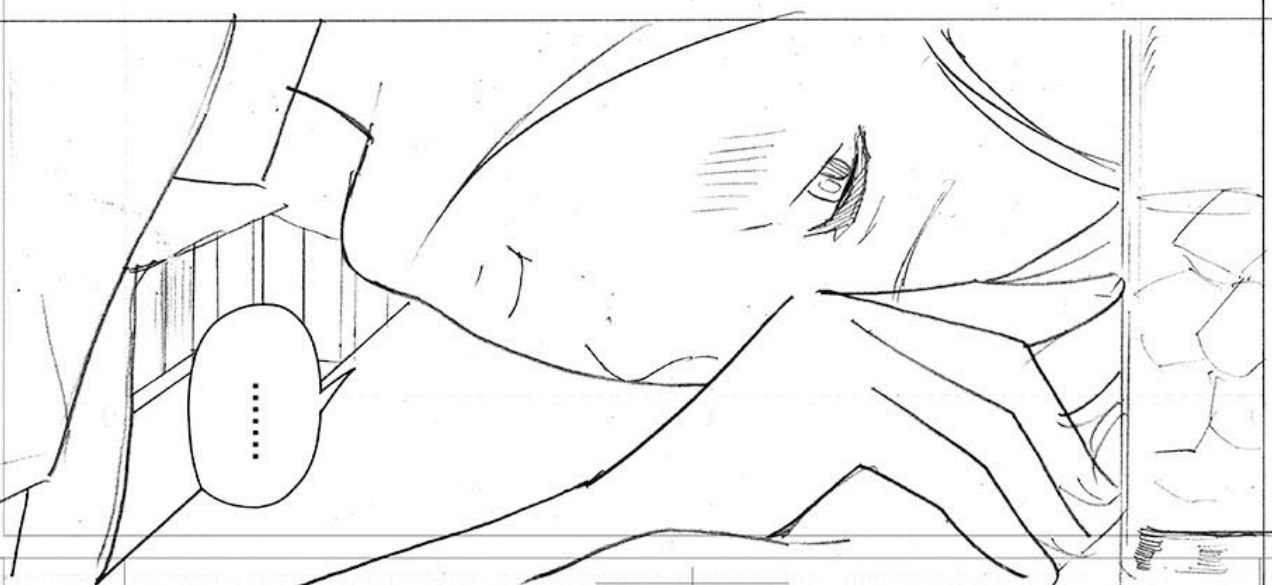
でも
もう11時
ですよ？



なんで彼氏
できないん
だろう...

連絡やり取り

※ライン画面

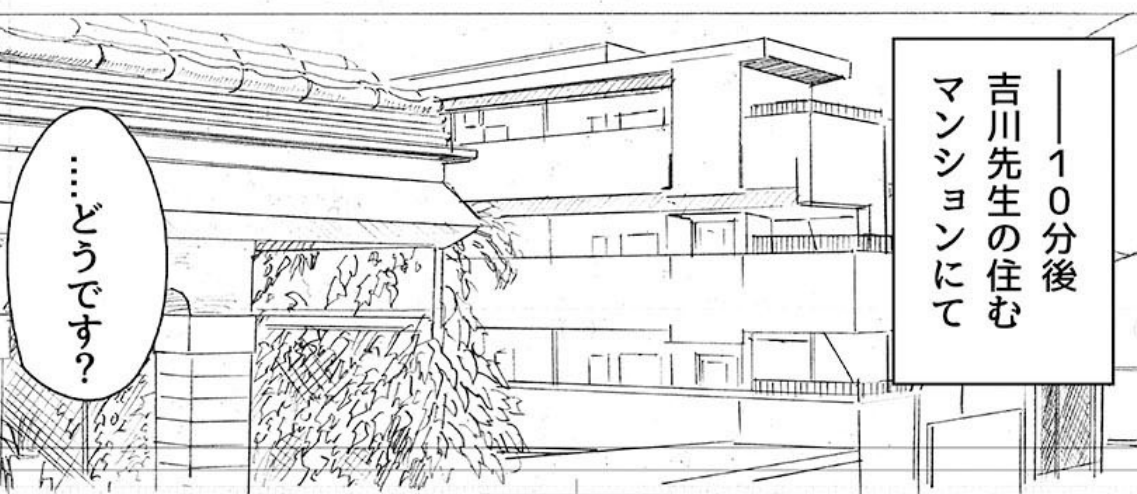


...









現在作成中

